

バージョン 5 リリース 3



Web アプリケーション ユーザーズ・ガイド



バージョン 5 リリース 3



Web アプリケーション ユーザーズ・ガイド

お願い -

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、79ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Tivoli NetView for z/OS (製品番号 5697-ENV) バージョン 5 リリース 3 および新しい版で明記されて いない限り、以降のすべてのバージョン、リリース、およびモディフィケーションに適用されます。製品のレベルに 対して正しい版を使用していることを確認してください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法 で、使用もしくは配布することができるものとします。

IBM 発行のマニュアルに関する情報のページ

http://www.ibm.com/jp/manuals/

こちらから、日本語版および英語版のオンライン・ライブラリーをご利用いただけます。また、マニュアルに関する ご意見やご感想を、上記ページよりお送りください。今後の参考にさせていただきます。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示さ れたりする場合があります。

原典: SC32-9381-01 Tivoli<sup>®</sup> IBM Tivoli NetView for z/OS Version 5 Release 3 Web Application User's Guide 発行: 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当: ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2007.10

この文書では、平成明朝体<sup>™</sup>W3、平成明朝体<sup>™</sup>W7、平成明朝体<sup>™</sup>W9、平成角ゴシック体<sup>™</sup>W3、平成角ゴシック体<sup>™</sup>W5、および平成角ゴシック体<sup>™</sup>W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体<sup>\*</sup>W3、平成明朝体<sup>\*</sup>W7、平成明朝体<sup>\*</sup>W9、平成角ゴシック体<sup>\*</sup>W3、 平成角ゴシック体<sup>\*</sup>W5、平成角ゴシック体<sup>\*</sup>W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2005, 2007. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2007

# 目次

図
本書について
対象読者
資料
IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリー
前提資料
関連資料
オンライン用語集へのアクセス
LookAt を使用してメッセージの説明を検索する
マニュアルへのオンライン・アクセス
マニュアルのご注文
アクセシビリティー
Tivoli 技術研修
サポート情報
ダウンロード
本書の表記規則
書体の規則
オペレーティング・システム依存の変数とパス
弗 1 早 Web ノフリサーからのイットリークの官理
Web アフリケーションの開始
Web アフリケーションのナヒケート
N = 1
$9 \times 7 \wedge -$
$\mathcal{Y} = \mathcal{Y} = \mathcal{Y}$
$\mathcal{T}$ ーノルの処理
$\mathcal{T} = \mathcal{T} \mathcal{V} \mathcal{E} \mathcal{T} \mathcal{E} \mathcal{T} = \mathcal{T} \mathcal{E} \mathcal{E} \mathcal{E} \mathcal{E} \mathcal{E} \mathcal{E} \mathcal{E} E$
$T = J \mu \sigma J + \mu \sigma = 標作$
Tーノルをソートする
$A / D / Z \cdot (N / D / D / D / D / D / D / D / D / D / $
ノイールトに近ノン人グノト · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
$\mathcal{Y}\mathcal{X}\mathcal{Y}^{\bullet}\mathcal{J}^{\flat}\mathcal{X}\mathcal{Y}^{\flat}\mathcal{F}^{\bullet}.$
第2章 ユーザー・プリファレンスの設定
一般プリファレンスの設定 $16$
自動最新表示プリファレンスの設定
日時プリファレンスの設定 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18
イベント・ビューアー・プリファレンスの設定
コマンド・コンソール・プリファレンスの設定
テーマ・プリファレンスの設定
オーバーライド・プリファレンスの設定
第 3 章 イベントのブラウズ.............................23
弟 4 卓 シスノレックス・トホロシーのノフリス
第5章 ログのブラウズ
第 6 章 コマンド・コンソールのオーブン
© Copyright IBM Corp. 2005, 2007

第 7 章 NetView ヘルプのオープン
第8章 プロシージャーの起動
第 9 章 DVIPA 状況の表示
第 10 章 DVIPA ディストリビューターの表示
<b>第 11 章 TCP/IP 接続の管理</b>
第 12 章 IP パケット・トレース・データの管理
第 13 章 SNMP MIB のロードおよびアンロード
第 14 章 MIB ブラウザーの起動
第 15 章 リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動
第 16 章 SNMP コマンドの発行69
第 17 章 3270 コンソールのオープン..........................71
<b>第 18 章 インシデント・レポートのオープン</b>
<b>特記事項</b>
索引

# ×

| |

1.	Web アプリケーションの製品情報	2
2.	バナー	3
3.	タスクバー	3
4.	タスク・マネージャー	3
5.	ポートフォリオ	4
6.	ワークエリア・タイトル・バーのナビゲーショ	
	ン・コントロール	7
7.	パンくずリスト	7
8.	オペレーター・ツールバー........	8
9.	最新表示状況	9
10.	テーブル・アクション・ツールバー	9
11.	テーブル・フッター	0
12.	フィールド記述アシスタント	2
13.	タスク・アシスタント	3
14.	タスク・アシスタントのナビゲーション・コン	
	トロール	3
15.	ユーザー・プリファレンス: 一般プリファレン	
	Ζ	6
16.	ユーザー・プリファレンス: 自動最新表示プリ	
	ファレンス	7
17.	ユーザー・プリファレンス: 日時プリファレン	
	Ζ	8
18.	ユーザー・プリファレンス: イベント・ビュー	
	アー・ブリファレンス	.9
19.	ユーザー・ブリファレンス: コマンド・コンソ	
	$-\mu \cdot \overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline{\overline$	20
20.	ユーザー・フリファレンス: テーマ・フリファ	
		21
21.	ユーザー・フリファレンス: オーバーライド・	
22		2
22.		:3
23.	$\mathcal{I}_{\mathcal{I}} = \mathcal{I}_{\mathcal{I}} = $	24
24.		24
25.	SYSPLEX IP スタック・トホロシー TCP/IP ス	
26	$\gamma \gamma \gamma \gamma \cdot \gamma \Box \Lambda \tau \tau \tau - \dots + \dots$	28
26.	Netview ログのノグワス	
27.		62 12
28. 20	コメント・コンフールCコメントの応合 3 NatView for a/OS へルプト対理	15
29. 20	Netview for Z/US ハルノン結末	0
3U.	DVIFA 1人(元小人下・ノイルクー 5 DVIDA 11/2	19
31. 22	DVIFA 1人仇 4 DVIDA シフプレックフ・ディフトリビー ク	Đ
52.	DVIFA > A > V > Y > A · Y + A F Y L = - /	12
	4	13

33.	DVIPA ディストリビューター・ターゲット	44
34.	DVIPA 接続ホスト・フィルター	44
35.	DVIPA 接続	45
36.	「TCP/IP 接続の管理」の「スタックの選択」	
	ビュー	47
37.	TCP/IP 接続データの照会	48
38.	TCP/IP 接続データの表示	49
39.	パフォーマンス・データの照会	50
40.	パフォーマンス・データの表示	51
41.	メトリックの表示	52
42.	「IP パケット・トレース・データの管理」の	
	「スタックの選択」............	53
43.	IP パケット・トレース・データの照会	54
44.	IP パケット・トレース・データの表示	55
45.	IP パケット・トレース・データのフォーマット	56
46.	フォーマット済み IP パケット・トレース・デ	
	<i>ータ・レコード</i>	57
47.	MIB のアンロード	59
48.	$MIB O \Box - F \dots \dots$	60
49.	MIB ブラウザー・ウィンドウ	61
50.	システム MIB オブジェクトの MIB ブラウザ	
	ー・ウィンドウ	62
51.	システム MIB オブジェクトをウォークした後	
	の MIB ブラウザー・ウィンドウ	62
52.	リアルタイム・ポーリング・プログラムのウィ	
	ンドウ	66
53.	リアルタイム・ポーリング・プログラムとポー	
	リング用に選択済みのポーリング・オブジェク	
	<b>ト</b>	67
54.	リアルタイム・ポーリング・プログラムのグラ	
	7	68
55.	SNMP コマンド	69
56.	取得	70
57.	Get コマンドの SNMP コマンド応答	70
58.	3270 コンソール	71
59.	イベントに対する Information Management for	
	z/OS のインシデントのオープン	74
60.	Tivoli Information Management for z/OS $OT$	
	シデント作成メッセージ	75
61.	イベントに対する Peregrine Systems	
	ServiceCenter のインシデントのオープン	76
62.	Peregrine Systems ServiceCenter のインシデント	
	作成メッセージ	77

I

# 本書について

IBM<sup>®</sup> Tivoli<sup>®</sup> NetView<sup>®</sup> for z/OS<sup>®</sup> プロダクトは、複雑な、マルチプラットフォーム、マルチベンダーのネットワークおよびシステムの可用性を、単一管理ポイントから最高度に維持するために使用できる拡張機能を提供します。本書「*IBM Tivoli NetView for z/OS Web アプリケーション ユーザーズ・ガイド*」には、オペレーターおよびシステム・プログラマーを対象に、ネットワークおよびシステムを管理するための中心ポイントとして NetView Web アプリケーションを使用する方法についての情報が提供されています。

## 対象読者

本書は、システム・コンソール・オペレーター、ネットワーク・オペレーター、お よびシステム・プログラマーの方々を対象としています。 特定のオペレーター・プ ロシージャーは、ローカル側の要件に合わせて個々のインストール・システムによ って定義されます。

# 資料

このセクションでは、IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリーに収められている 資料、およびその他の関連資料を取り上げます。 Tivoli マニュアルへのオンライ ン・アクセスの方法、および Tivoli マニュアルのご注文方法についても記述されて います。

# IBM Tivoli NetView for z/OS ライブラリー

Tivoli NetView for z/OS ライブラリーには、以下のような資料が用意されています。

- 「アドミニストレーション・リファレンス」(SC88-9305) には、システム管理に 必要な NetView プログラムの定義ステートメントについて記述されています。
- 「アプリケーション・プログラマーズ・ガイド」(SC88-9306)には、NetView プログラム間インターフェース (PPI)および NetView アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API)の使用方法について記述されています。
- 「Automated Operations Network カスタマイズ・ガイド」(SC88-9318) には、イベント・ドリブン・ネットワーク自動化機能を提供する NetView Automated
   Operations Network (AON) コンポーネントの自動化操作機能を調整し、拡張する方法について記述されています。
- 「Automated Operations Network ユーザーズ・ガイド」(GC88-9302) には、 Automated Operations Network コンポーネントを使用して、システムおよびネッ トワークの効率を向上させる方法について記述されています。
- 「自動操作ガイド」(SC88-9304) には、自動化操作機能を使用して、システムと ネットワークの効率およびオペレーターの生産性を向上させる方法について記述 されています。

- 「コマンド解説書 第 1 巻」(SC88-9307) および「コマンド解説書 第 11 巻」 (SC88-9308) には、ネットワークとシステム操作およびコマンド・リストとコマ ンド・プロシージャーで使用することができる NetView コマンドについて記述さ れています。
- 「カスタマイズ・ガイド」(SC88-9309) には、NetView プロダクトをカスタマイ ズする方法が記述されており、関連情報のソースが示されています。
- 「データ・モデル・リファレンス」(SC88-9312)では、Graphic Monitor Facility host subsystem (GMFHS)、SNAトポロジー・マネージャー、およびマルチシス テム・マネージャーのデータ・モデルについて説明しています。
- 「インストール: 追加コンポーネントの構成」(SC88-9321) には、NetView の基本 機能以外の追加機能の構成方法について記述されています。
- 「インストール: グラフィカル・コンポーネントの構成」(SC88-9322) では、 NetView グラフィックス・コンポーネントをインストールおよび構成する方法に ついて説明しています。
- 「インストール: 概説」(SC88-9319) には、NetView 基本機能をインストールおよ び構成する方法について記述されています。
- 「インストール:マイグレーション・ガイド」(SC88-9320)には、NetView プロダクトの現行リリースによって提供される新規機能および前のリリースからの基本機能のマイグレーションについて記述されています。
- 「Installation: Configuring the Tivoli NetView for z/OS Enterprise Agents」 (SC31-6969) では、Tivoli NetView for z/OS エンタープライズ・エージェントを インストールおよび構成する方法について説明しています。
- 「Messages and Codes Volume 1 (AAU-DSI)」(SC31-6965) および「Messages and Codes Volume 2 (DUI-IHS)」(SC31-6966) では、NetView プロダクトのメッセージ、NetView 異常終了コード、NetView メッセージ内のセンス・コード、および 総称アラート・コード・ポイントについて説明しています。
- 「マルチシステム・マネージャー ユーザーズ・ガイド」(GC88-9301)には、 NetView マルチシステム・マネージャー・コンポーネントをネットワーク管理で どのように使用できるかについて記述されています。
- 「NetView 管理コンソール ユーザーズ・ガイド」(GC88-9303) では、NetView プロダクトの NetView 管理コンソール・インターフェースについて説明しています。
- 「Programming: Assembler」(SC31-8860)には、アセンブラー言語を使用して NetView プロダクトの出口ルーチン、コマンド・プロセッサー、およびサブタス クの作成方法について記述されています。
- 「プログラミング: パイプ」(SC88-9311) には、NetView パイプラインを使用して NetView インストール済み環境をカスタマイズする方法について記述されていま す。
- 「Programming: PL/I and C」(SC31-8861)には、PL/I または C を使用して NetView プロダクトのコマンド・プロセッサーおよびインストール・システム出 ロルーチンを作成する方法が記述されています。
- 「プログラミング: REXX および NetView コマンド・リスト言語」(SC88-9310) には、再構造化拡張実行プログラム言語 (REXX<sup>™</sup>) または NetView コマンド・リ スト言語を使用して、NetView プロダクトのコマンド・リストを作成する方法に ついて記述されています。

- 「リソース・オブジェクト・データ・マネージャーおよび GMFHS プログラマーズ・ガイド」(SC88-9313)では、NetView リソース・オブジェクト・データ・マネージャー (RODM)(非 SNA ネットワークの RODM への定義方法、およびネットワーク自動化とアプリケーション・プログラミングでの RODM の使用法を含む)について説明しています。
- 「セキュリティー・リファレンス」(SC88-9317) には、NetView 環境の許可検査 をインプリメントする方法について記述されています。
- 「SNA トポロジー・マネージャー インプリメンテーション・ガイド」 (SC88-9315)では、サブエリアを管理するために使用できる NetView SNA トポ ロジー・マネージャー、拡張対等通信ネットワーク機能 (Advanced Peer-to-Peer Networking<sup>®</sup>)、および TN3270 リソースの計画およびインプリメントについて説 明しています。
- 「*Troubleshooting Guide*」(LY43-0093) では、NetView プロダクトの使用中に起こ る可能性のある問題の文書化、診断、および解決について説明しています。
- 「Tuning Guide」(SC31-8869)には、NetView プロダクトおよびネットワーク環境の一定のパフォーマンス・ゴールを達成するために役立つチューニング情報があります。
- 「ユーザーズ・ガイド」(GC88-9300)では、NetView プロダクトを使用して、複 雑なマルチベンダーのネットワークとシステムを単一ポイントから管理する方法 について説明しています。
- 「Web アプリケーション ユーザーズ・ガイド」(SD88-6818)には、NetView Web アプリケーションを使用して、複雑なマルチベンダーのネットワークとシステム を単一ポイントから管理する方法について記述されています。
- 「*Licensed Program Specifications*」(GC31-8848) には、NetView プロダクトのラ イセンス情報があります。

### 前提資料

このリリースで提供される新機能については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS イン* ストール:マイグレーション・ガイド」を参照してください。

NetView for z/OS プロダクトがどのように IBM Tivoli Monitoring プロダクトと相 互に作用するかについては、以下の IBM Tivoli Monitoring の資料を参照してくだ さい。

- 「*IBM Tivoli Monitoring 6.1 紹介*」(GI88-6718) では、IBM Tivoli Monitoring の コンポーネント、概念、および機能を示しています。
- 「*IBM Tivoli Monitoring V6.1.0 Tivoli Distributed Monitoring* の更新」(GD88-6712) では、IBM Tivoli Distributed Monitoring の更新方法について説明しています。
- 「*IBM Tivoli Monitoring V6.1.0 インストールおよび設定ガイド*」(GD88-6698) では、IBM Tivoli Monitoring のインストールおよび設定について説明しています。
- 「*IBM Tivoli Monitoring V6.1.0* ユーザーズ・ガイド」(SD88-6700) は IBM Tivoli Enterprise<sup>™</sup> Portal オンライン・ヘルプを補完する資料であり、すべての Tivoli Enterprise Portal 機能に関する実地研修および詳細な手順が示されています。
- 「*IBM Tivoli Monitoring 6.1.0 管理者ガイド*」(SD88-6699)では、IBM Tivoli Enterprise Portal Server およびクライアントに必要なサポート・タスクおよび機能 について説明しています。

- 「*IBM Tivoli Monitoring V6.1.0 Tivoli Enterprise Monitoring* サーバー z/OS 版の 構成」(SD88-6713)では、z/OS システム上で稼働する IBM Tivoli Enterprise Monitoring Server を構成およびカスタマイズする方法について説明しています。
- 「*IBM Tivoli Monitoring V6.1.0 問題判別ガイド*」(GD88-6710) には、ソフトウェ アに関する問題のトラブルシューティングを行う際に使用する情報およびメッセ ージが記載されています。
- 「IBM Tivoli Monitoring V6.1.0 IBM Tivoli Monitoring の解説」(SD88-6817) に は、IBM Tivoli Monitoring について検討するための一連の実践内容が記載されて います。
- 「*IBM Tivoli Universal Agent V6.1.0* ユーザーズ・ガイド」(SD88-6711) では、 IBM Tivoli Universal Agent について紹介しています。
- 「*IBM Tivoli Universal Agent API and Command Programming Reference Guide*」 (SC32-9461)では、IBM Tivoli Universal Agent API をインプリメントする方法に ついて説明し、API 呼び出しおよびコマンド行インターフェース・コマンドにつ いて解説しています。

### 関連資料

NetView ブリッジ機能については、「*Tivoli NetView for OS/390 Bridge Implementation*」(SC31-8238-03、V1R4 ライブラリーからのみ入手可能)を参照して ください。

追加の製品情報は、次の NetView for z/OS Web サイト上で検索できます。

http://www.ibm.com/software/tivoli/products/netview-zos/

# オンライン用語集へのアクセス

「*Tivoli* ソフトウェア用語集」には、Tivoli ソフトウェアに関する多数の技術用語の 定義が収められています。「*Tivoli* ソフトウェア用語集」は、次の Tivoli ソフトウ ェア・ライブラリー Web サイトでご利用いただけます。

http://publib.boulder.ibm.com/tividd/glossary/tivoliglossarymst.htm

IBM Terminology Web サイトには、多数の IBM プロダクト・ライブラリーからの 用語が 1 つの便利なロケーションに統合されています。 Terminology Web サイト には、次の Web アドレスでアクセスできます。

http://www.ibm.com/software/globalization/terminology/

NetView for z/OS の用語と定義のリストについては、IBM Terminology Web サイト を参照してください。 以下の用語は、このライブラリーで使用されます。

#### **NetView**

以下のプロダクト:

- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 3
- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 2
- Tivoli NetView for z/OS バージョン 5 リリース 1
- Tivoli NetView for OS/390<sup>®</sup> バージョン 1 リリース 4

MVS<sup>™</sup> z/OS オペレーティング・システムに関する用語

MVS エレメント

z/OS オペレーティング・システムの BCP エレメントに関する用語

CNMCMD

CNMCMD および組み込みメンバー

**CNMSTYLE** 

CNMSTYLE および組み込みメンバー

PARMLIB

連結シーケンスでの SYS1.PARMLIB およびその他のデータ・セットに関す る用語

以下の IBM の名前は、指定された Candle® の名前と置き換わります。

**IBM Tivoli Monitoring Services** OMEGAMON<sup>®</sup> プラットフォームに関する用語

- IBM Tivoli Enterprise Monitoring Agent Intelligent Remote Agent に関する用語
- IBM Tivoli Enterprise Monitoring Server Candle Management Server に関する用語
- IBM Tivoli Enterprise Portal CandleNet Portal に関する用語
- **IBM Tivoli Enterprise Portal Server** CandleNet Portal Server に関する用語

特に断りのない限り、プログラムを参照する場合は、そのプログラムの最新のバー ジョンおよびリリースを指します。バージョンのみが示されている場合は、そのバ ージョンのすべてのリリースを参照しています。

パーソナル・コンピューターまたはワークステーションの使用に関する参照の場合 は、すべてのプログラマブル・ワークステーションを使用できます。

# LookAt を使用してメッセージの説明を検索する

LookAt というオンライン機能により、大部分の IBM メッセージと、いくつかのシ ステム異常終了 (タスクの異常終了) およびコードに関する説明を検索できます。 LookAt では、通常、該当メッセージの説明がただちに表示されるため、従来の方法 よりも短時間で、必要な情報を検索することができます。

LookAt を以下のロケーションから使用して、z/OS のエレメントおよびフィーチャー、z/VM<sup>®</sup>、VSE/ESA<sup>™</sup>、および Clusters for AIX<sup>®</sup> and Linux<sup>®</sup> に関する IBM メッ セージの説明を検索できます。

- インターネット。LookAt Web サイト (http://www.ibm.com/eserver/zseries/zos/ bkserv/lookat/) から IBM メッセージの説明に直接アクセスできます。
- z/OS TSO/E ホスト・システム。z/OS または z/OS.e システムにコードをインストールして、TSO/E コマンド行 (例えば、TSO/E プロンプト、ISPF、またはOMVS が稼働中の z/OS UNIX<sup>®</sup>システム・サービス)から LookAt を使用し、IBM メッセージの説明にアクセスできます。

- Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> ワークステーション。コードをインストールして、Microsoft Windows DOS コマンド行から LookAt を使用し、「z/OS Collection」 (SK3T-4269) にある IBM メッセージの説明にアクセスできます。
- ワイヤレス・ハンドヘルド・デバイス。ハンドヘルド・デバイスで LookAt Mobile Edition を使用することによって、ワイヤレス・アクセスおよびインター ネット・ブラウザー (例えば、Internet Explorer for Pocket PCs、Blazer、または Eudora for Palm OS、あるいは Opera for Linux handheld devices) を利用できる ようになります。 LookAt Web サイトから LookAt Mobile Edition にリンクして ください。

LookAt をホスト・システムまたは Microsoft Windows ワークステーションにイン ストールするコードは、「z/OS Collection」(SK3T-4269)のディスクまたは LookAt Web サイト (「Download」をクリックし、必要なプラットフォーム、リリース、コ レクション、およびロケーションを選択します)から入手できます。詳細な情報 は、ダウンロード処理中に使用可能な LOOKAT.ME ファイル内にあります。

# マニュアルへのオンライン・アクセス

以下は英語のみの対応となります。資料 CD には、製品ライブラリーにある資料が 含まれています。資料は、PDF、HTML、および BookManager<sup>®</sup> フォーマットで入 手可能です。資料へのアクセス方法の説明については、CD 上の README ファイ ルを参照してください。

Tivoli NetView for z/OS ライブラリーを検索するための索引が、ドキュメンテーション CD 上に収められています。ご使用のシステムに Adobe Acrobat があれば、 Search コマンドを使用して、ライブラリー内で特定のテキストの場所を探索することができます。ライブラリーを検索する索引の使用方法についての詳細な情報は、 Acrobat のオンライン・ヘルプを参照してください。

IBM では、この製品およびその他のすべての Tivoli 製品に関する資料を、使用可能になった時点および更新された時点で、Tivoli Information Center の Web サイト (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/tivihelp/v3r1/index.jsp) に載せています。

「Tivoli Information Center」ウィンドウで、「**Tivoli product manuals** (**Tivoli 製品** マニュアル)」をクリックします。製品名の最初の文字と一致する文字をクリック し、製品ライブラリーにアクセスします。例えば、Tivoli NetView for z/OS ライブ ラリーにアクセスするには、N をクリックします。

注: PDF 文書をレターサイズ以外の用紙に印刷する場合は、Adobe Reader のメニュ ーから「ファイル」→「印刷」を選択して表示されたウィンドウでオプションを 設定し、レターサイズのページをご使用の用紙に印刷できるようにしてくださ い。

# マニュアルのご注文

以下は英語のみの対応となります。なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインター ネット経由でもご購入いただけます。詳しくは、http://www.ibm.com/jp/manuals/の 「ご注文について」をご覧ください。(URL は、変更になる場合があります)

http://www.elink.ibmlink.ibm.com/publications/servlet/pbi.wss

次の電話番号からもご注文いただけます。

- 米国: 800-879-2755
- カナダ: 800-426-4968

その他の国では、Tivoli 製品資料のご注文については、ソフトウェアのお客様担当 者にご連絡ください。お客様担当者の電話番号を調べるには、以下の手順を実行し てください。

1. 次の Web アドレスにアクセスします。

http://www.elink.ibmlink.ibm.com/public/applications/publications/ cgibin/pbi.cgi

- 2. リストからお客様の国を選択し、「Go」をクリックします。「Welcome to the IBM Publications Center」ウィンドウが表示されます。
- ウィンドウの左側の「About this site」をクリックし、お客様担当者の電話番号 が記されている情報ページを表示します。

# アクセシビリティー

アクセシビリティー機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザ ーがソフトウェア・プロダクトを快適に使用できるようにサポートします。製品で は、標準的なショートカット・キーおよびアクセラレーター・キーが使用され、オ ペレーティング・システムによって文書化されます。詳しくは、ご使用のオペレー ティング・システムが提供する資料を参照してください。

追加情報については、「ユーザーズ・ガイド」の付録『アクセシビリティー』を参照してください。

# Tivoli 技術研修

以下は英語のみの対応となります。 Tivoli 技術研修の情報については、以下の IBM Tivoli Education Web サイト (http://www.ibm.com/software/tivoli/education) を 参照してください。

# サポート情報

以下は英語のみの対応となります。 IBM ソフトウェアに問題がある場合は、早く 解決する必要があります。お客様が必要なサポートを得られるように、IBM は以下 の方法を提供しています。

### オンライン

IBM Software Support サイト (http://www.ibm.com/software/support/ probsub.html) にアクセスして、指示に従います。

#### **IBM Support Assistant**

IBM Support Assistant (ISA) は、IBM ソフトウェア製品に関する疑問およ び問題の解決に役立つ無償のローカル・ソフトウェア保守サービス・ワーク ベンチです。ISA により、問題判別のためのサポート関連の情報および保守 サービス・ツールに迅速にアクセスできます。ISA ソフトウェアをインスト ールするには、http://www.ibm.com/software/support/isa にアクセスします。

#### 問題判別ガイド

問題を解決する方法について詳しくは、「IBM Tivoli NetView for z/OS Troubleshooting Guide」を参照してください。

# ダウンロード

ダウンロード可能なクライアントとエージェント、NetView 製品のデモンストレー ション、およびいくつかの無償の NetView アプリケーションを、以下の NetView for z/OS Web サイトから入手できます。

http://www.ibm.com/software/tivoli/products/netview-zos/

これらのアプリケーションは、以下の作業に役立ちます。

- 以前のリリースから現行スタイルシートへの、カスタマイズ・パラメーターのマ イグレーション
- 自動化テーブルの統計情報の入手、および自動化テーブルのリストとの統計情報のマージ
- JES (Job Entry Subsystem) ジョブの状況の表示、または指定された JES ジョブの取り消し
- プログラム間インターフェース (PPI) を使用した、NetView プログラムへのアラートの送信
- PPI を使用した、MVS コマンドの送信および受信
- TSO (Time Sharing Option) コマンドの送信および応答の受信

# 本書の表記規則

本書では、特殊な用語とアクション、およびオペレーティング・システムに依存するコマンドとパスを表す場合に、いくつかの表記規則を使用しています。

### 書体の規則

本書では、書体について以下の規則を使用しています。

### 太字

- 周囲のテキストと見分けがつきにくい小文字のコマンドおよび大/小文字 混合のコマンド
- インターフェース・コントロール (チェック・ボックス、プッシュボタン、ラジオ・ボタン、スピン・ボタン、フィールド、フォルダー、アイコン、リスト・ボックス、リスト・ボックス内の項目、複数列リスト、コンテナー、メニューの選択項目、メニュー名、タブ、プロパティー・シート)、ラベル (ヒント:およびオペレーティング・システムの考慮事項:など)
- テキスト内のキーワードおよびパラメーター

イタリック

- 引用 (例: 資料、ディスケット、および CD のタイトル)
- テキスト内で定義されている語(例: 非交換回線は Point-to-Point 回線 と も呼ばれる)

- 語および文字の強調(言葉として扱われる語の例: "制限節を挿入するには、単語 that を使用します"。文字として扱われる場合の例: "LUN アドレスは文字 L で始める必要があります"。)
- テキスト中の新規用語 (定義リスト内を除く): view は、データが入って いるワークスペース内のフレームです。
- 指定する必要のある変数および値: ... ここで myname が表すものは ...
- モノスペース
  - 例およびコード例
  - 周囲のテキストと見分けがつきにくいファイル名、プログラミングのキー ワード、およびその他のエレメント
  - ユーザー宛てのメッセージ・テキストおよびプロンプト
  - ユーザーが入力する必要のあるテキスト
  - 引数またはコマンド・オプションの値

# オペレーティング・システム依存の変数とパス

ワークステーション・コンポーネントの場合、本書では、環境変数およびディレクトリー表記に UNIX の規則を使用しています。

Windows コマンド行を使用する場合、環境変数では \$ 変数 を %変数 % で置き 換え、ディレクトリー・パスではスラッシュ (/) を円記号 (¥) で置き換えてくださ い。環境変数の名前は、Windows 環境と UNIX 環境とでは常に同じとは限りませ ん。例えば、Windows 環境の %TEMP% は、UNIX 環境の \$TMPDIR と同等で す。

注: Windows システムで bash シェルを使用している場合は、UNIX の表記規則を 使用できます。

# 第 1 章 Web ブラウザーからのネットワークの管理

NetView for z/OS Web アプリケーションで提供されるすべての基本 NetView コマ ンドおよび標準ブラウザーからの制御機能を使用することによって、ネットワーク を管理することができます。このサポートを使用して、SNMP、TCP/IP、および DVIPA 環境を管理し、イベント、ログ、およびシスプレックス・トポロジー・デー タをブラウズし、さらに NetView コマンド、オンライン・ヘルプ、および 3270 コ ンソールにアクセスします。インストール情報および構成情報については、 *netview\_installation\_dir/doc/znetview\_webapp\_readme\_en.htm* ファイルおよび「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」マニュアルを参 照してください。

# Web アプリケーションの開始

1

NetView Web サーバーにアクセスするには、以下のステップを実行してください。

 以下の Web アドレスに進みます。ここで Web\_application\_server:port は TCP ホスト名および NetView Web アプリケーションがインストール済みの HTTPS サーバーのポート番号、 netview は NetView Web アプリケーションのコンテ キスト・ルート、および domain\_ID は接続先の NetView for z/OS プログラム のドメイン ID です。デフォルトのポート番号は、WebSphere<sup>®</sup> Application Server を使用するセキュア接続の場合は 9043、 IBM WebSphere Application Server v6.1 の組み込みバージョンを使用するセキュア接続の場合は 9943 で す。

https://Web\_application\_server:port/netview/domain\_ID/

 表示される Web アプリケーションのサインオン・ビュー内で、有効な NetView オペレーター ID (ユーザー名) とパスワードを入力し、「OK」をクリックしま す。 ID とパスワードは検査され、以降のセッションのために Web アプリケー ション・サーバー上にキャッシュされます。

有効なオペレーター ID とパスワードを入力すると、Web アプリケーションが開き ます。デフォルトでは、2ページの図1 に示されているように、ワークエリア内に 製品情報が表示されます。

- 注:
- Web アプリケーション内に表示される初期タスクまたは情報は、ユーザーが構成できます。「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
- 2. 同一のユーザー ID を使用して、同一の NetView ドメインに接続する Web ブ ラウザーを、複数開かないようにしてください。



図 1. Web アプリケーションの製品情報

左側のポートフォリオには、Web アプリケーションを使用して実行できるタスクが リストされています。ポートフォリオ内のタスクをクリックすると、右側のワーク エリアまたは新しいウィンドウにそのタスクが表示されます。 Web アプリケーシ ョンのパーツについての詳細な情報は、『Web アプリケーションのナビゲート』を 参照してください。

# Web アプリケーションのナビゲート

NetView Web アプリケーションは、ネットワークを管理するために使用できるブラ ウザー・ベースのインターフェースです。このインターフェースには、以下のパー ツがあります。

- ・バナー
- タスクバー
- ポートフォリオ
- ワークエリア

### バナー

3ページの図2のようなバナーが、常時、このインターフェースの上部に表示されています。バナーにはプロダクト名が含まれています。



# タスクバー

図3のようなタスクバーが、常時、バナーのすぐ下に表示されています。



図 3. タスクバー

タスクバーには、以下のナビゲーション・コントロールがあります。

「すべてのタスクを表示/非表示」ボタン

オープン・タスクをリストする「タスク・マネージャー」ビュー(「すべて のタスク」タスク)を表示または非表示にします。 図4 のような「タス ク・マネージャー」ビューを使用して、次のように1 つのタスクから別の タスクに切り替えます。タスクを選択して「**タスクの切り替え**」をクリック するか、または「**タスクの終了**」をクリックしてタスクをクローズしてくだ さい。

	+		All Tasks	X
Та	isk Mana	iger		
	End	Task Switch Task		
	Select	Task Name	Task Icon	
	O	About		
	0	Manage IP Packet Trace Data		
	0	Issue SNMP Commands		
		Total: 3		

図4. タスク・マネージャー

#### タスク・ボタン

オープンされているタスクをまとめて、1 つのボタンでオープン・タスクと して表示します。オープン・タスクをワークエリアに表示するには、該当す るタスク・ボタンをクリックしてください。 NetView Web アプリケーショ ンに最初にサインオンするときに、製品情報がワークエリアに表示され、 「**製品情報**」タスク・ボタンがタスクバーに表示されます。

### サインオフ・ボタン

NetView Web アプリケーションからサインオフします。このボタンをクリ ックすると、ユーザーの信任状は Web アプリケーション・サーバーから除 去されます。次に NetView for z/OS プログラムにアクセスする必要がある ときには、NetView ユーザー ID とパスワードの入力を求めるプロンプトが 表示されます。サインオフしても、NetView for z/OS プログラムでのオペレーター・タスクには影響がありません。ユーザーのオペレーター・タスクはログオフまたは切断されません。

## ポートフォリオ

インターフェースのタスクバーの下の左側にあるポートフォリオには、図5のよう に、ユーザーが実行できるタスクが表示されています。ポートフォリオのタイト ル・バーには、接続されている NetView ドメインおよびサインオンに使用した NetView ユーザー ID が表示されています。

注: いくつかのタスクは、予約済みタスクとして定義されます。その場合、これら のタスクへのアクセスを許可されたユーザーのみを対象に、タスクがポートフ ォリオ内に表示されます。予約済みタスクおよびこれらのタスクの使用許可の 定義に関する情報は、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポ ーネントの構成」を参照してください。



図5. ポートフォリオ

ポートフォリオのタイトル・バーには、以下のナビゲーション・コントロールがあ ります。

### 「タスク・リストの表示/非表示」ボタン

ポートフォリオを表示または非表示にします。ポートフォリオが非表示の場合、ポートフォリオのタイトル・バーは表示されますが、その中は「**タス ク・リストの表示**」ボタンのみです。

タスクのすべては表示されていない場合、ポートフォリオ内の「**マイ・タスク**」を 展開してください。

タスクをオープンするには、ポートフォリオ内の該当するタスクをクリックしま す。起動されているタスク以外のすべてのタスクはワークエリア内に表示され、タ スクを表すタスク・ボタンがタスクバーに追加されます。起動済みタスク「プロシ ージャーの起動」、「MIB ブラウザーの起動」、および「リアルタイム・ポーリン グ・プログラムの起動」は新しいウィンドウ内に表示され、タスクバーには追加さ れません。 デフォルトのポートフォリオには、以下のタスクが含まれています。

#### イベントのブラウズ

Common Event Infrastructure (CEI) データベース内のイベントを表示しま す。 23 ページの『第 3 章 イベントのブラウズ』を参照してください。

#### シスプレックス・トポロジーのブラウズ

z/OS イメージおよび TCP/IP スタック名とアドレスなどの、SYSPLEX TCP/IP スタック情報を表示します。 27 ページの『第 4 章 シスプレック ス・トポロジーのブラウズ』を参照してください。

### ログのブラウズ

NetView for z/OS ログ機能を活動化します。 31 ページの『第 5 章 ログ のブラウズ』を参照してください。

### コマンド・コンソールのオープン

NetView for z/OS コマンドまたはコマンド・リストを実行依頼します。 33ページの『第6章 コマンド・コンソールのオープン』を参照してくだ さい。

### NetView ヘルプのオープン

NetView for z/OS オンライン・ヘルプにアクセスして、メッセージおよび コマンドを検索します。 35ページの『第7章 NetView ヘルプのオープ ン』を参照してください。

### プロシージャーの起動

ユーザー定義の Uniform Resource ID (URI) にアクセスします。 37 ページ の『第8章 プロシージャーの起動』を参照してください。

#### DVIPA 状況の表示

動的仮想 IP アドレスの状況を表示します。 39 ページの『第 9 章 DVIPA 状況の表示』を参照してください。

### DVIPA ディストリビューターの表示

特定の動的仮想 IP アドレス・ディストリビューター、ターゲット、および 接続についての情報にアクセスします。 43 ページの『第 10 章 DVIPA デ ィストリビューターの表示』を参照してください。

### TCP/IP 接続の管理

NetView for z/OS プログラムに認識されているスタックの TCP/IP 接続デ ータを管理 (照会またはパージ) します。 IBM Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks プログラムに認識されているパフォーマンス・データ を、特定のスタックおよび TCP/IP 接続について表示します。 47 ページの 『第 11 章 TCP/IP 接続の管理』を参照してください。

#### IP パケット・トレース・データの管理

NetView for z/OS プログラムに認識されているスタックの IP パケット・ト レース・データを管理 (照会、フォーマット、またはパージ) します。 53 ページの『第 12 章 IP パケット・トレース・データの管理』を参照してく ださい。

### SNMP MIB のロード/アンロード

SNMP MIB を Web SNMP サービスにロード、または、前にロードされて いた MIB をアンロードします。 59 ページの『第 13 章 SNMP MIB のロ ードおよびアンロード』を参照してください。

#### MIB ブラウザーの起動

MIB オブジェクトおよびグループ用の情報を、指定されたホストについて 表示します。 61 ページの『第 14 章 MIB ブラウザーの起動』を参照して ください。

#### リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動

ポーリングし、ホストに関連した MIB ベースのパフォーマンス・データの リアルタイム・グラフを表示します。 65 ページの『第 15 章 リアルタイ ム・ポーリング・プログラムの起動』を参照してください。

#### SNMP コマンドの発行

SNMP コマンド (SNMP Get、SNMP Set、SNMP Walk、SNMP GetNext、 SNMP GetBulk、SNMP BulkWalk、SNMP Trap、または SNMP Remote Ping) の 1 つを発行します。 69 ページの『第 16 章 SNMP コマンドの発 行』を参照してください。

### 3270 コンソールのオープン

端末エミュレーターを使用せずに、ブラウザーから 3270 パネルにアクセス します。 71ページの『第 17 章 3270 コンソールのオープン』を参照して ください。

### ユーザー・プリファレンスの設定

このユーザーについての設定を変更します。 15 ページの『第 2 章 ユーザ ー・プリファレンスの設定』を参照してください。

#### 製品情報

NetView for z/OS プログラムのバージョン、リリース、およびビルド・レベルを表示します。

注: 「SNMP MIB のロード/アンロード」、「MIB ブラウザーの起動」、「リアル タイム・ポーリング・プログラムの起動」、および「SNMP コマンドの発行」 タスクについては、SNMP サーバーが稼働している必要があります。 SNMP サ ーバーの構成についての情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール:* 追加コンポーネントの構成」および *netview\_installation\_dir/*doc/ znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照してください。

### ワークエリア

タスクバーの下のポートフォリオの右方に配置されているワークエリアで、Web ア プリケーションとユーザーの基本的な対話が行われます。このインターフェースの ワークエリアは、1 つのみです。ワークエリアをサイズ変更するには、以下のアク ションのいずれかを実行します。

- カーソルをポートフォリオとワークエリアの間の境界線の上に置き、その境界線
   を左方または右方にドラッグします。
- ポートフォリオをクローズします。
- ブラウザーのウィンドウをサイズ変更します。

ワークエリアには、現在表示中のタスクの名前を示すタイトル・バーが含まれま す。デフォルトでは、「製品情報」が最初にワークエリア内に表示されます。ワー クエリアのタイトル・バーには、7ページの図6に示されているような、以下のナ ビゲーション・コントロールがあります。

### i ? 🗙

図6. ワークエリア・タイトル・バーのナビゲーション・コントロール

- 「フィールド記述の表示/非表示」ボタン (i)
  - フィールドおよびボタンに対してフィールド・レベル・ヘルプを提供するフ ィールド記述アシスタントを表示または非表示にします。フィールド記述ア シスタントは、ワークエリアの左側に表示されます。このボタンは、製品情 報または「タスク・マネージャー」ビューが表示されているときは使用不可 です。フィールド記述アシスタントについての詳細な情報は、12ページの 『フィールド記述アシスタント』を参照してください。
- 「タスク・アシスタントの表示/非表示」ボタン (?)

タスクのヘルプまたはワークエリア内に表示されるビューを提供するタス ク・アシスタントを表示または非表示にします。タスク・アシスタントは、 ワークエリアの右側に表示されます。このボタンは、製品情報または「タス ク・マネージャー」ビューが表示されているときは使用不可です。タスク・ アシスタントについての詳細な情報は、12ページの『タスク・アシスタン ト』を参照してください。

「タスクのクローズ」ボタン (X)

ワークエリア内に表示されているタスクをクローズします。

ポートフォリオ内のタスクをクリックすると、そのタスクのビューがワークエリア 内に表示されます。ワークエリアには、図7に示されているように、パンくずリス トとして知られているナビゲーション・コントロールがあります。ワークエリアの タイトル・バーのすぐ下に表示されます。パンくずリストには、ワークエリア内で ユーザーがナビゲートして現在のビューに至った経過が表示されます。パンくずリ ストにリストされている最後のビューが現在のビューです。パンくずリストに表示 されている任意のビューに戻るには、パンくずリスト内の該当するビュー・タイト ルをクリックしてください。そのビューがワークエリア内に表示されます。

注: Web アプリケーションをナビゲートするには、Web アプリケーション・インタ ーフェースで提供されるボタンのみを使用してください。 Web ブラウザーのナ ビゲーション・ボタン (たとえば、戻る、進む、最新表示、または停止) を使用 すると、矛盾した結果になることがあります。



図7. パンくずリスト

ビューには、入力フィールド、テーブル、およびボタンなどの共通エレメントが含まれています。一部のビューには、データに対する要求をフィルター操作するための入力フィールドが含まれています。タスクに対して情報を指定する場合、アスタリスク(\*)でマークされたすべてのフィールドに情報を提供する必要があります。\* でマークされたフィールドは、すべて必須フィールドです。その他のビューでは、 テーブル内のデータが表示されます。テーブルについての詳細な情報は、8ページの『テーブルの処理』を参照してください。 以下のボタンは、ほとんどのタスクに共通です。

- 「OK」ボタン
  - データに対する要求を実行依頼します。要求が正常に処理されると、その結 果のビューがワークエリア内に表示されます。要求が正常に処理されない場 合は、エラーの入力フィールドが赤の標識でマークされます。
- 「デフォルトの復元」ボタン

ワークエリア内に表示されているビューの現行値を、IBM 提供値に置き換えます。

- 注: 「ユーザー・プリファレンスの設定」タスクのデフォルトを復元する と、単にワークエリア内に表示されている値だけでなく、タスク内のす べての値が IBM 提供値に置き換えられます。
- 「戻る」ボタン

ワークエリアを直前のビューに戻します。

「タスクのクローズ」ボタン

ワークエリア内に表示されているタスクをクローズします。ワークエリアの タイトル・バーにある「**タスクのクローズ**」ボタン (**X**) をクリックして も、タスクをクローズすることができます。

# テーブルの処理

NetView for z/OS プログラムからのデータが頻繁にテーブル内に表示されます。以下のトピックには、テーブルの取り扱い方について記述されています。

- 『テーブルをナビゲートする』
- 10ページの『テーブルのフィルター操作』
- 11ページの『テーブルをソートする』

# テーブルをナビゲートする

テーブルには、以下のパーツがあります。

- オペレーター・ツールバー
- テーブル・アクション・ツールバー
- 列ヘッダーおよび行
- フッター

### オペレーター・ツールバー

オペレーター・ツールバーはテーブルの上部にあり、図8 に示されているように、 データをリフレッシュするボタンと追加のビューにナビゲートするボタンがありま す。

🛛 🕄 🛛 🔹 Open Incident

図8. オペレーター・ツールバー

多くのテーブルには、以下のオペレーター・ツールバー・ボタンがあります。

### 「最新表示」ボタン

テーブル・データをリフレッシュし、最新表示タイマーが有効な場合はリセ

ットします。カーソルを「最新表示」ボタンの上でホールドすると、図9 に示されているように、テーブルが最後に更新されたときのタイム・スタン プおよび最新表示率の現在の設定を確認できます。最新表示率を更新するに は、「ユーザー・プリファレンスの設定」タスクを使用してください。



図 9. 最新表示状況

「中断/再開」

テーブル・データの自動最新表示を中断または再開します。自動最新表示が 可能なビューのリストについては、『「ユーザー・プリファレンスの設定」 タスクのタスク・アシスタント』を参照してください。

「インシデントのオープン」ボタン

「インシデントのオープン」ビューを表示して、このタスクのインシデン ト・レポートをインシデント管理アプリケーションで開けるようにします。 このボタンは、インシデント管理アプリケーションが構成済みで、ある行の データを選択したときのみ有効です。インシデント・レポートをオープンす ることができるタスクのリストについては、73 ページの『第 18 章 インシ デント・レポートのオープン』を参照してください。

### テーブル・アクション・ツールバー

テーブル・アクション・ツールバーはオペレーター・ツールバーのすぐ下にあり、 図 10 に示されているように、テーブル内のデータを編成および表示するために使用 できる標準のアクションを提供します。



図 10. テーブル・アクション・ツールバー

以下の標準のテーブル・アクションは、テーブル・アクション・ツールバー (ボタ ンとして、およびテーブル・アクション・リストからの両方)から使用可能です。 これらのテーブル・アクションについての詳細は、『タスク・アシスタント』を参 照してください。

- 「全選択」
- 「全選択解除」
- 「行フィルターの表示」または「行フィルターの非表示」
- 「すべてのフィルターをクリア」
- 「ソートの編集」
- 「すべてのソートをクリア」
- 「テーブルの縮小」または「テーブルの展開」
- 「インライン・アクション・バーを使用可能にする」または「インライン・アクション・バーを使用不可にする」

「列の構成」

### 列ヘッダーおよび行

列ヘッダーには、テーブル内のデータについて記述されます。テーブル内の各行 は、データの固有の部分 (たとえば、イベント、ネットワーク・ログ・メッセー ジ、接続、または動的仮想 IP アドレス (DVIPA)) を表します。特定のビュー内に 表示されるデータについての詳細は、『タスク・アシスタント』を参照してくださ い。スクロールせずにテーブル内に表示できる行数を設定するには、「ユーザー・ プリファレンスの設定」タスクを使用します。

### テーブル・フッター

テーブル・フッターは、図 11 に示されているように、テーブルの下部に表示されます。

Matched Records: 15 Total: 15 Filtered: 10 Selected: 1 Last Update: 08/29/05 08:54:11 E

図11. テーブル・フッター

ほとんどのテーブルでは、以下のフィールドがテーブル・フッター内に含まれてい ます。

#### 一致したレコード

フィルター基準と一致するレコード数 (データの行数) を示します。テーブ ル内に表示されるレコードの総数よりもこの数値が大きい場合は、フィルタ ー基準を変更する必要があるかもしれません。

合計 テーブル内に表示される行数を示します。

#### フィルタリング済み

テーブル内でアクティブ・フィルターと一致する行数を示します。アクティ ブなフィルターがない場合、この値は**合計**の値と等しい値です。

#### 選択済み

テーブル内で現在選択済みの行数を示します。

#### 最終更新

テーブル内のデータが最後に更新されたときのタイム・スタンプを示しま す。 Web アプリケーションでタイム・スタンプを表示するときの時間帯ま たは日時の形式を更新するには、「ユーザー・プリファレンスの設定」タス クを使用してください。

### テーブルのフィルター操作

1 つ以上のデータ列に対してフィルターを定義することにより、テーブル内のデー タをフィルターに掛けることができます。テーブルをフィルター処理すると、表示 される行数が減り、特定のデータに焦点を合わせやすくなります。

フィルターを定義するには、「行フィルターの表示」ボタンをクリックするか、またはテーブル・アクション・リストの「行フィルターの表示」をクリックして、次に「実行」をクリックすることによって、まず行フィルターを表示する必要があります。「行フィルターの表示」は、標準のテーブル・アクションの1つです。

列見出しの直後に、既存のフィルターを示す行が表示されます。既存のフィルター が存在しない列については、「フィルター」という語が表示されます。フィルター が存在する場合、フィルター定義の左方のチェック・ボックスは、フィルターがア クティブ (チェック済み)か、または非アクティブ (チェックなし)かを示します。

テーブル内のデータ列に対してフィルターを定義または変更する前に、フィルター 定義域を表示する必要があります。そのためには、フィルターに掛けたい列の既存 のフィルターをクリックするか、または、フィルターが存在しない場合は、「フィ ルター」をクリックしてください。

テーブル内のデータ列に対してフィルターを定義または変更するには、以下の手順 を実行してください。

- 定義済みフィルターまたは「フィルター」という語をクリックすることによって、フィルター定義域を表示します。
- 表示フィールドを使用して、フィルターを指定します。さまざまなタイプの列に 対して表示されるフィールドについての情報は、『タスク・アシスタント』を参 照してください。
  - **注:**日時フィールドの場合、その日時の形式は、ユーザー設定で指定された日時の形式によって決定されます。
- 3. 「**OK**」をクリックします。

フィルターは、最初に定義されたときはアクティブです。アクティブ・フィルター を非アクティブにするには、列のフィルターの左方にあるチェック・ボックスから チェック・マークを除去します。非アクティブ・フィルターをアクティブにするに は、列のフィルターの左方にあるチェック・ボックス内にチェック・マークを付け ます。

列から既存のフィルターを除去するには、フィルター定義域を開き、フィールドから情報を削除し、次に「OK」をクリックします。行フィルターは、その列内に「フィルター」と表示されます。

テーブル内のすべての列から既存のフィルターを除去するには、「**すべてのフィル** ターをクリア」をクリックするか、またはテーブル・アクション・リストの「**すべ** てのフィルターをクリア」を選択して、次に「実行」をクリックしてください。

# テーブルをソートする

ソートの編集機能を使用して、テーブル内で最大 3 列を一度にソートできます。この機能を使用するには、「ソートの編集」をクリックするか、またはテーブル・アクション・リストの「ソートの編集」を選択して、「実行」をクリックすることによって、まずソート編集域を表示します。「ソートの編集」は、標準のテーブル・アクションの 1 つです。

テーブルをソートするには、ソートに使用する最初の列、および、任意で使用する 2番目と3番目の列を指定して、次に「OK」をクリックします。

ソート基準をすべての列から除去するには、「**すべてのソートをクリア**」をクリッ クするか、またはテーブル・アクション・リストの「**すべてのソートをクリア**」を 選択して、次に「実行」をクリックします。 列名の右方にあるソート・シンボル (^) をクリックすることによって、任意の列で クイック・ソートを実行することができます。

注: クイック・ソートを実行すると、既存のソート基準はクリアされ、テーブル内 のデータは選択列の昇順でソートされます。 ソート・シンボルをクリックすると、昇順ソートと降順ソートを切り替えることが できます。ソート・シンボルの濃淡が濃い場合、列は昇順でソートされます。ソー ト・シンボルの濃淡が淡い場合、列は降順でソートされます。

# オンライン・ヘルプの使用

以下のトピックには、Web アプリケーション用の 2 つのタイプのオンライン・ヘルプについて記述されています。どちらか一方のタイプを表示することも、両方の タイプを同時に表示することもできます。

- 『フィールド記述アシスタント』
- 『タスク・アシスタント』

### フィールド記述アシスタント

フィールド記述アシスタントはワークエリアの左側に表示され、図12 に示されてい るように、あるフィールドまたはボタンから別のフィールドまたはボタンにタブ移 動する際に、フィールド・レベル・ヘルプを提供します。フィールド記述アシスタ ントを表示または非表示にするには、ワークエリアのタイトル・バーにある「フィ ールド記述を表示」または「フィールド記述を非表示」ボタン (ラベルは i) をクリ ックします。

	Manage TCP/I	P Connections			i ? 🗙
N/S//	Select Stack				
	8	Query Conne	ction Data	Pu	irge Connecti
	444		-		0 1 1 4 1
					Select Action
Select a stack and an	Select ^	TCP Name _^	Type 🗠	Domain ^	Policy Nam
action against the stack.	0	TCPIP2	TCPIP	A01NV	TVT2002
	0	TCPIP2B	TCPIP	A01NV	TVT2002B
	0	TCPIP2C	TCPIP	A01NV	TVT2002C

図 12. フィールド記述アシスタント

## タスク・アシスタント

タスク・アシスタントはワークエリアの右側に表示され、13 ページの図 13 に示さ れているように、ワークエリア内に表示されるタスクまたはビューのヘルプ (タス クまたはビューに対して提供されているフィールドおよびナビゲーション・コント ロールについての情報を含む)を提供します。タスク・アシスタントを表示または 非表示にするには、ワークエリアのタイトル・バーにある「タスク・アシスタント を表示」または「タスク・アシスタントを非表示」ボタン (ラベルは?)をクリック します。

	lanage TCP/IF	<sup>o</sup> Connections		i ? 🗙
Select Stack				0 0 🗈 🗊 🖗 🗡 🗙
Query Conne	ection Data	Pu	rge Connei	Select Stack
** *? 🖌 🖉			Select Acti	purging TCP/IP connection data. The table lists the stacks
Select ^ TCP Name ^	Туре ^	Domain ^	Policy Na	known to the NetView for z/OS
O TCPIP2	TCPIP	A01NV	TVT2002	program.
O TCPIP2B	TCPIP	A01NV	TVT2002E	Resource discovery discovers
O TCPIP2C	TCPIP	A01NV	TVT2002C	all local stacks known to the
O TCPIP2D	TCPIP	A01NV	TVT2002E	also discovers stacks from

図13. タスク・アシスタント

タスク・アシスタントには、図 14 に示されているような、以下のナビゲーション・ コントロールがあります。

🗘 🔶 🗈 🗊 🖗 🖌 🛛

図 14. タスク・アシスタントのナビゲーション・コントロール

「前のトピック」ボタン

直前のトピックを表示します。

「次のトピック」ボタン (▶)

次のトピックを表示します。

「目次」ボタン

タスク・アシスタントの目次を表示または非表示にします。

「トピック索引」ボタン

タスク・アシスタントの索引を表示または非表示にします。

トピック索引でストリングを検索するには、「検索」フィールドにストリン グを入力して、Enter (キー)を押します。ストリングが検出されたら、その トピックが強調表示され、関連したヘルプ・パネルが表示されます。トピッ ク索引で次の検索結果を検出するには、「検索」フィールドにカーソルを置 き、再度 Enter (キー)を押します。トピック索引で次の検索結果が強調表 示され、関連したヘルプ・パネルが表示されます。

「メッセージ索引」ボタン

メッセージ索引を表示または非表示にします。この索引を使用して、メッセ ージのヘルプを表示できます。

メッセージ索引でストリングを検索するには、「検索」フィールドにストリ ングを入力して、Enter (キー)を押します。ストリングが検出されたら、そ のメッセージが強調表示され、関連したメッセージ・ヘルプが表示されま す。メッセージ索引で次の検索結果を検出するには、「検索」フィールドに カーソルを置き、再度 Enter (キー)を押します。メッセージ索引で次の検 索結果が強調表示され、関連したメッセージ・ヘルプが表示されます。

「検索」ボタン

「検索」フィールドを表示または非表示にします。このフィールドを使用して、特定の文字ストリングをタスク・アシスタントで検索できます。ヘル

プ・パネルでストリングを検索するには、「検索」フィールドにストリング を入力して、Enter (キー)を押します。検索結果域には、探しているストリ ングを含むヘルプ・パネルがリストされます。このリストの最初のヘルプ・ パネルが強調表示されています。別のヘルプ・パネルを表示するには、その ヘルプ・パネルをクリックしてください。

「タスク・アシスタントを非表示」ボタン (X)

タスク・アシスタントを非表示にします。

# 第2章 ユーザー・プリファレンスの設定

ポートフォリオ内の「**ユーザー・プリファレンスの設定**」をクリックして、ユーザ ー・プリファレンスを設定します。ユーザー・プリファレンスは、すべてのビュー で表示されるデータに対して適用されるグローバル・デフォルト値です。以下の種 類のプリファレンスを設定できます。

- 一般
- 自動最新表示
- 日時
- イベント・ビューアー
- コマンド・コンソール
- ・テーマ
- オーバーライド

「ユーザー・プリファレンスの設定」タスクを最初にオープンしたときは、各ユー ザー・プリファレンスごとに提供される IBM 提供値が表示されます。このプロダ クトに精通してくると、ユーザーのニーズに合わせてユーザー・プリファレンスを 変更できるようになります。変更内容はすべて保存され、次に Web アプリケーシ ョンにサインオンしたときに使用可能です。ユーザー・プリファレンスについての 詳細は、『タスク・アシスタント』を参照してください。

注: このタスクのデフォルトを復元すると、単にワークエリア内に表示されている ビューの値だけでなく、タスクのすべての値が IBM 提供値に置き換えられま す。

# 一般プリファレンスの設定

図 15 に示されているように、「一般プリファレンス」ビューを使用して、すべての ビューの一般プリファレンスを設定します。これには、重大度および状況の問題、 テーブル内に表示される行数、および IP アドレス表記が含まれます。重大度およ び状況の問題は、Web アプリケーションのビュー内で重大度および状況情報がどの ように表示されるかに影響を与えます。圧縮 IP アドレスを含む IP アドレスについ ての詳細な情報は、『タスク・アシスタント』を参照してください。

User Preferences         * General       General Preferences         * Auto Refresh       * Severity and Status Indication         * Date and Time       Text, Color, and Icon         * Event Viewer       *Number of Table Rows         * Command Console       15         * Theme       *IPv4 Representation         Override       Standard Dotted Decimal         IPv6 Representation       Compress IPv6 Addresses         IPv6 Representation       Compress IPv6 Addresses	? ×
* General       General Preferences         * Auto Refresh       * Severity and Status Indication         * Date and Time       Text, Color, and Icon •         * Event Viewer       * Number of Table Rows         * Command Console       15         * Theme       •IPv4 Representation         Override       Compress IPv4 Addresses         IPv6 Representation       Compress IPv6 Addresses	-
* Auto Refresh     * Date and Time     * Event Viewer     * Command Console     * Theme     Override     * Pv4 Representation     Compress IPv4 Addresses     IPv6 Representation     Compress IPv6 Addresses	
OK Apply Restore Defaults Close Task	

図15. ユーザー・プリファレンス: 一般プリファレンス

# 自動最新表示プリファレンスの設定

図 16 に示されているように、「自動最新表示プリファレンス」ビューを使用して、 データ (イベントまたは TCP/IP 接続データなど)の自動最新表示のためにプリファ レンスを設定します。これによって、イベント、TCP/IP 接続、シスプレックス・ト ポロジー、DVIPA、および接続パフォーマンス・データが自動的に更新されるかど うか、および、その場合の時間間隔が決定されます。このビューを使用して、デー タの自動最新表示を使用不可に設定することもできます。

**注:** パフォーマンス上の理由で、特定のタスクの自動最新表示率は、それらのタス クのデータ収集インターバルより大きく設定することをお勧めします。

+	Set User Preferences	i ? 🗙
User Preferences		
* <u>General</u>	Auto Refresh Preferences	
* Auto Refresh	*Auto Refresh Rate for Manage TCP/IP Connections	
* Date and Time	5	
* Event Viewer	🗆 Disable Auto Refresh	
* <u>Command Console</u>	*Auto Refresh Rate for Browse Sysplex Topology	
* <u>Theme</u>	5	
<u>Override</u>	🗆 Disable Auto Refresh	
	∗Auto Refresh Rate for Browse Events <mark>5</mark> ⊡ Disable Auto Refresh	
	+Auto Refresh Rate for Manage DVIPA <mark>5</mark> ⊡ Disable Auto Refresh	
	★Auto Refresh Rate for View Connection Performance Data           5           □ Disable Auto Refresh	
OK Apply Re	estore Defaults Close Task	

図16. ユーザー・プリファレンス: 自動最新表示プリファレンス

# 日時プリファレンスの設定

図 17 に示されているように、タイム・スタンプを表示するための時間帯および日時 の形式を設定します。

### 注:

- 1. 現在のホストの日時の形式を使用する場合、この形式の値は NetView ホストで DEFAULTS および OVERRIDE コマンドを使用して設定されます。
- 2. 「日付と時刻の順序」フィールドに示されている日時の形式の例は、日付形式お よび時刻形式のフィールドでの設定値に基づいています。

Ð	Set User Preferences	i ? 🗙
User Preferences		4
User Preferences   * General  * Auto Refresh  * Date and Time  * Event Viewer  * Command Console  * Theme  Override	Date and Time Preferences         +Time Zone         (GMT -5) EST America/New_York         (GMT -5) Eastern Standard Time America/New_York         Date Format         Current Host Format         Time Format         Current Host Long Format         +Date Time Order         © 08/26/05 11:02:55         C 11:02:55 08/26/05	
OK Apply R	estore Defaults Close Task	

図 17. ユーザー・プリファレンス: 日時プリファレンス
## イベント・ビューアー・プリファレンスの設定

図 18 に示されているように、「イベント・ビューアー・プリファレンス」ビューを 使用して、それぞれの要求に対して戻されるイベントの数および「イベントのブラ ウズ」タスクでクイック・フィルター・ツールバーを表示するかどうかを設定しま す。

Ð	Set User Preferences	i ? 🗙
User Preferences		
General     Auto Refresh     Date and Time     Event Viewer     Command Console	Event Viewer Preferences *Number of Events Returned 100 I Show Quick Filter Toolbar	
* <u>Theme</u>		
<u>Override</u>		
OK Apply Re	store Defaults Close Task	

図18. ユーザー・プリファレンス: イベント・ビューアー・プリファレンス

## コマンド・コンソール・プリファレンスの設定

図 19 に示されるように、「コマンド・コンソール・プリファレンス」ビューを使用 して、前に発行されたコマンドの数とスクロールせずに表示できる応答域の行数、 および「コマンド・コンソールのオープン」タスクで **NETVASIS** チェック・ボッ クスが使用可能かどうかを設定します。

÷	Set User Preferences	i	?  >	<
User Preferences				*
<ul> <li>★ General</li> <li>★ Auto Refresh</li> <li>★ Date and Time</li> </ul>	Command Console Preferences *Number of Previously Issued Commands 10			
* <u>Event Viewer</u> * <u>Command Console</u>	*Number of Visible Lines			
* <u>Theme</u> Override	☑ Display NET∨ASIS Shortcut			
OK Apply R	estore Defaults Close Task			

図19. ユーザー・プリファレンス: コマンド・コンソール・プリファレンス

### テーマ・プリファレンスの設定

図 20 に示されているように、「テーマ・プリファレンス」ビューを使用して、Web アプリケーションのカラーのテーマを設定します。

**注:** このユーザー・プリファレンスは、「3270 コンソールのオープン」タスクのカ ラー・セットには影響を与えません。

+	Set User Preferences	i ? 🗙
User Preferences	Set User Preferences  Theme Preferences  * Console Theme Default Theme Preview  IIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIIII	
OK Apply Re	estore Defaults Close Task	

図 20. ユーザー・プリファレンス: テーマ・プリファレンス

#### オーバーライド・プリファレンスの設定

図 21 に表示されているように、「オーバーライド・プリファレンス」ビューを使用 して、同一のサーバーに接続されているすべてのユーザーを対象に、プリファレン ス (ユーザーが自分自身のプリファレンスを変更できるかどうかを含む)を設定しま す。許可ユーザーのみがこのビューにアクセスできます。

注: このオーバーライド機能の許可は、CNMSTYLE %INCLUDE メンバー CNMSTWBM の webmenu.prefoverride ステートメントによって提供されます。 詳細については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネ* ントの構成」を参照してください。

<b>H</b>	Set User Preferences	i ? 🗙
User Preferences		
* General	Override Preferences	
* Auto Refresh	General	_
* Date and Time	User can modify status representation	
* <u>Event viewer</u> * <u>Command Console</u>	- ✓ User can modify maximum table rows	
* Theme	Auto Refresh	_
Override	☑ User can modify auto refresh rate for Manage TCP/IP Connections	
	☑ User can modify disable auto refresh for Manage TCP/IP Connections	
	✓ User can modify auto refresh rate for Browse Sypslex Topology	
	✓ User can modify auto refresh rate for Browse Events	
	User can modify disable auto refresh for Browse Events	
	☑ User can modify auto refresh rate for Manage DVIPA	
	✓ User can modify disable auto refresh for Manage DVIPA	
	Is user can modify duto retresh rate for view Connection Performance Data ✓ User can modify disable auto refresh for View Connection Performance Data	,
	Date and Time	_
	V Hear can modify time tana	
	I User can modify date format	
	I lloss oon madifu time format	

図 21. ユーザー・プリファレンス: オーバーライド・プリファレンス

「ユーザー・プリファレンスの設定」タスクで設定できるそれぞれのプリファレン スは、対応するオーバーライド・チェック・ボックスで制限することができます。 オーバーライドの許可を持つユーザーが、別のユーザーによる特別なプリファレン ス値の変更を制限している場合、そのユーザーは、許可ユーザーがそのプリファレ ンスに対して持っている値を継承します。

# 第3章 イベントのブラウズ

ポートフォリオ内の「**イベントのブラウズ**」をクリックして、Common Event Infrastructure (CEI) データベース内のイベントを表示します。

Common Event Infrastructure は、多くの異なるプログラミング環境からのイベント を統合および配布する機能を提供します。お互いに密結合されていないさまざまな プロダクトは、この共通インフラストラクチャーを使用してイベントの管理を統合 し、ドメインの境界を超えるエンタープライズ・リソースおよび相関イベントのエ ンドツーエンド・ビューを提供することができます。 Common Base Event 仕様 は、CEI データベースに保管されているイベント情報の構造を定義しています。

「**イベントのブラウズ**」をクリックすると、図 22 のテーブルのように、イベントを リストしているテーブルを示す「イベント・ビューアー」ビューが表示されます。

+			Browse Events	i	? ×
Event Viewer					
ि क्षेत्र III	Replace 🔻	Open Incide	ent View Details		
+++	** 🖌 🖉		Select Action Go		
Select 1	N Severity 🗠	Time Stamp 🔷 🔨	Resource ^	Туре 🗠	Me
0	<u>∆</u> Warning	08/04/05 00:22:15	B3088P0/SP,NAP/TP,DECNET/DEV,RALV4/DEV,A02_1/DEV		SOI
0	Scritical 👘	08/04/05 00:22:15	ALTNON12/COMC		INIT
0	Scritical 👘	08/04/05 00:22:15	TVT20_6C/SP,SP-APPL/TP,NETSP/DEV,TVT20_6C/DEV		OPI
۲	SCritical	08/04/05 00:22:15	ALTNON12/COMC		INIT
0		08/04/05 00:22:15	B3088P0/SP,NAP/TP,DECNET/DEV,RALV4/DEV,A02_1/DEV		SOI
0	Scritical 👘	08/04/05 00:22:14	TVT20_6C/SP,SP-APPL/TP,NETSP/DEV,TVT20_6C/DEV		OPI
0	Scritical	08/04/05 00:22:14	ALTNON12/COMC		INIT
0		08/04/05 00:22:14	B3088P0/SP,NAP/TP,DECNET/DEV,RALV4/DEV,A02_1/DEV		SOI
0	Scritical	08/04/05 00:22:14	ALTNON12/COMC		INIT
0	SCritical	08/04/05 00:22:14	SHAGGY/SP,FLCIP01/TP,IBM-99HK/DEV		UN
0		08/04/05 00:22:14	TVT20_6C/SP,SP-APPL/TP,NETSP/DEV,TVT20_6C/DEV		OPI
0	SCritical	08/04/05 00:22:14	ALTNON12/COMC		INIT
0	Scritical	08/04/05 00:22:10	SCRAPPY/SP,FLCIP01/TP,BAMBAM.T/DEV		PR
	A				en

図 22. イベント・ビューアー

新規イベントによってテーブル内のイベントが置き換えられるのか、またはテーブ ルに追加されるのかは、「置換/追加」ボタンで決まります。このボタンをクリック して、リストを確認してください。デフォルトでは、テーブル内のイベントが置き 換えられます。

24 ページの図 23 に示されているクイック・フィルター・ツールバーを使用して、 容易にイベントを重大度によってフィルターに掛けることができます。これらのボ タンは、イベントの重大度に対応しています。特定の重大度のイベントをフィルタ ーに掛けるには、対応するボタンをクリックします。それらのイベントを再び表示 するには、このボタンを再びクリックします。すべてのフィルターをクリアするに は、クイック・フィルター・ツールバー内の最初のボタンをクリックしてくださ い。

#### 40 🗇 🛈 🗹 🛆 🔕 😣

図23. クイック・フィルター・ツールバー

クイック・フィルター・ツールバーが表示されている場合、重大度列のフィルター は行フィルターとしては使用不可です。フィルタリング・テーブルについての詳細 な情報は、10ページの『テーブルのフィルター操作』を参照してください。

注: クイック・フィルター・ツールバーを表示するかどうかなど、イベント・ビュ ーアーのプリファレンスを設定することができます。詳細な情報については、 15ページの『第2章ユーザー・プリファレンスの設定』を参照してくださ い。

イベントを選択した後に、「詳細表示」をクリックして、そのイベントについての 詳細な情報を表示することができます。 図 24 に示されているように、「イベント の詳細」ビューが表示されます。

Ð				Bro	owse Events		i	<b>?</b> ×
Event Viewer	Event Det:	ails						<b>_</b>
Event Ref	erence							
Severity	Time Sta	amp	Resource	Туре	Message			
SCritical	08/04/05	00:22:15	ALTNON12/COMC		INITIALIZATION FAILUP	E:RING	INTERFACE COUPLER	
Event Det	ails	V alian					1	
Creation T	īma	value 09/07/05 (	00-22-15			-		
Creation I	inte		00.22.13					
Determy								
Priority Event ID		Mealum CE11DAO	MA000100000000		CONCEN			
Event ID Situation (	Cotogory	CETTDAU Depent Site	14A033130920F3E4	ADSOD	0000100			
Situation (	Paana	керонан сутсоми	uation					
Situation	Scope		<b>\</b>					
Reporter (	Compone	ent Inforn	nation (Emitting Re	esource	e)			
Attribute		Valu	e					
Location		NETA	4. A01NV					
Location T	Гуре	SNA						
Applicatio	n	A01N	M					
Execution	Environm	ient TVT2	002					
Componer	nt	Tivoli	NetView for z/OS					
Componer	nt Type							
Componer	at ID Tuna	Deads	tNama					

#### 図 24. イベントの詳細

「イベントの詳細」ビューには、ビューの最上部に参照が付いている選択済みイベ ントの詳細が表示されます。これには、作成時刻、重大度、優先順位、イベント ID、およびメッセージ・テキストなどの情報が含まれます。このビューには、イベ ントを報告しているリソースおよびイベントによって影響を受けるリソースについ ての情報も含まれます。該当する場合は、このビューの NetView 拡張域に NetView 固有の情報が表示されます。これらの NetView 固有のフィールドは条件項目に対応 し、1 つ以上の条件項目値が設定されている場合のみ、この領域が表示されます。 条件項目についての詳細な情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS 自動操作ガイ* ド」を参照してください。リソースのベンダーが専門的なアドバイスを提供し、イ ベントによって報告された問題の修正を試行できるアクションの説明がある場合 は、その情報が**推奨アクション**域に表示されます。

インシデント管理アプリケーションが構成されていて、ユーザーが「イベントのブ ラウズ」ビューでイベントを選択済みか、またはイベントの「イベントの詳細」ビ ューを表示している場合、「**インシデントのオープン**」をクリックすることによっ て、インシデント・レポートをオープンすることができます。インシデント・レポ ートをオープンすることについての詳細な情報は、73ページの『第 18 章 インシ デント・レポートのオープン』を参照してください。

# 第 4 章 シスプレックス・トポロジーのブラウズ

ポートフォリオ内の「**シスプレックス・トポロジーのブラウズ**」をクリックして、 z/OS イメージおよび TCP/IP スタック名とアドレスなどの、SYSPLEX TCP/IP ス タック情報を表示します。「SYSPLEX IP スタック・トポロジー」ビューがワーク エリア内に表示されます。

ビューの左側にあるツリーをナビゲートすることによって、トポロジーをブラウズ するか、または特定のリソースに関連した情報を表示することができます。ツリー の最上位「SYSPLEX IP スタック・トポロジー」は、SYSPLEX TCP/IP スタッ ク・トポロジーを表します。ツリーを展開すると、SYSPLEX の名前を確認できま す。 SYSPLEX を展開すると、SYSPLEX 内で定義された z/OS イメージを確認で きます。特定の z/OS イメージを展開すると、z/OS イメージに関連した TCP/IP ス タックを確認できます。

それぞれの z/OS イメージまたは TCP/IP スタック名の横にあるアイコンは、イメ ージまたはスタックの最近の既知の状況を示します。特定の z/OS イメージについ ての追加情報を確認するには、ツリー内の z/OS イメージをクリックしてくださ い。その情報は、ビューの右側に表示されます。

特定の TCP/IP スタックについての追加情報を確認するには、ツリー内のそのスタ ックをクリックしてください。TCP/IP スタック情報は、ビューの右側に表示されま す。28 ページの図 25 に示されているビューと類似のものです。

vsplex IP Stack Topology	Browse sysplex Topol	ugy LL	Ľ
Open Incident			
Select Action	Go		
→ <u>Sysplex IP Stack Topology</u>	TCP/IP Stack Properties	3	
	Attribute	Value	
□ <u>□ TVT2002</u>	Status	Satisfactory	
	Time Stamp	03/26/07 15:24:40	
	TCP Name	TCPIP7	
	Policy Name	TVT2007	
	XCF Group Name	EZBTCPCS	
TCPIP7D	Host Name	TVT2007.TIVLAB.RALEIGH.IBM.COM	
	Product	CS	
	Level	V1R8	
	Primary IP Address	9.42.45.136	
	Primary IP Address Type	IPv4	
	Primary Interface	9.42.45.136	
	Primary Interface Type	IPv4	
	IPv6 Address	2002:92A:111:503:9:42:45:136	
	IPv6 Address Type	IPv6	
	IPv6 Host Name	TVT2007V6.TIVLAB.RALEIGH.IBM.COM	
	AT-TLS Enabled	false	
	IPSec Enabled	false	
	<u>  </u>	Last Undate: 11/21/07 00:11:39 F	-ST

図 25. SYSPLEX IP スタック・トポロジー TCP/IP スタック・プロパティー

リソース・ディスカバリーにより、NetView イメージのすべての局所スタックをデ ィスカバーすることができます。また、SYSPLEX 内のその他の z/OS イメージか らもスタックをディスカバーできます。ただし、それらの z/OS イメージが NetView for z/OS プログラムを実行中で、RTNDEF.BASE.AGENT ステートメント が CNMSTYLE %INCLUDE メンバー CNMSTUSR または CxxSTGEN で定義済み の場合です。 RTNDEF.BASE.AGENT ステートメントについての情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス*」を参照してくださ い。

注: すべてのスタックまたは期待するデータが表示されていない場合、 RTNDEF.BASE.AGENT ステートメントが正しく定義されていることを確認して ください。

「SYSPLEX IP スタック・トポロジー」ビューから、テーブル・アクション・リストの多数のアクションが使用可能です。

- TCP/IP スタックの接続データおよび IP パケット・トレース・データを表示できます。接続データの表示についての詳細な情報は、47ページの『第 11 章 TCP/IP 接続の管理』を参照してください。 IP パケット・トレース・データについての詳細な情報は、53ページの『第 12 章 IP パケット・トレース・データの管理』を参照してください。
- 基本 IP アドレスを ping して、その経路を基本 IP アドレスまでトレースすることができます。または、基本インターフェースを ping して、その経路を基本インターフェースまでトレースすることができます。

T

Т

z/OS イメージおよび TCP/IP スタックの場合、インシデント・レポートをオープンすることができます。インシデント・レポートをオープンすることについての詳細な情報は、73ページの『第 18 章 インシデント・レポートのオープン』を参照してください。

# 第5章 ログのブラウズ

ポートフォリオ内の「**ログのブラウズ**」をクリックして、NetView ログ・ブラウズ 機能を活動化します。「NetView ログのブラウズ」ビューが、図 26 のように表示 されます。

<b>H</b>	Browse Logs	? ×
Browse NetView Log		
*NetView Domain CO2NV *NetView Log NETLOGA 💌	*Net√iew Network ID * *RMTCMD Operator ID *	
Time Filters		_
Begin Time (hh:mm:ss)	Begin Date (mm/dd/yy) End Date (mm/dd/yy) End Date (mm/dd/yy)	
Other Filters		-
Operator ID  Message ID	Domain ID  Message Text	
OK Restore Defaults	Close Task	
Operator ID Message ID OK Restore Defaults	Lomain ID Message Text	

図 26. NetView ログのブラウズ

NetView ドメインまたはネットワーク・ログなどのネットワーク・ログ・レコード を、「NetView ログのブラウズ」ビュー内に表示するためのフィルタリング基準を 指定することができます。以下のログを表示できます。

- アクティブ・ネットワーク・ログ (NETLOGA)
- 非アクティブ・ネットワーク・ログ (NETLOGI)
- ・1 次ネットワーク・ログ (NETLOGP)
- 2 次ネットワーク・ログ (NETLOGS)
- アクティブおよび非アクティブ・ネットワーク・ログ (NETLOGC)

デフォルトの設定値を使用する場合、32ページの図27のビューに示されているような「ログの表示」ビューに、ログの結果が表示されます。

Ð			Browse Logs		i ? 🗙			
Browse NetView Log 🌢 Disp	olay Log: NETLOGA				<b>_</b>			
	Go							
Top Bottom E	Top Bottom Backward Forward							
🗮 📽 🖌	2 1 2	Select A	ction 🔻 Go					
Sequence ^ Task	∩ Domain	Routing 🗠	Time Stamp 🔷 🔿	HDRMTYPE ^	Message			
1210 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:18:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1211 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:21:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1212 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:24:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1213 AUTTO	CP9 CO2NV		07/14/05 10:26:17	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1214 AUTTO	CP10 C02NV		07/14/05 10:26:17	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1215 AUTTO	CP8 CO2NV		07/14/05 10:26:19	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1216 AUTTO	CP4 C02NV		07/14/05 10:26:55	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1217 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:27:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1218 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:30:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1219 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:33:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1220 AUTTO	CP10 C02NV		07/14/05 10:36:31	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1221 AUTTO	CP9 CO2NV		07/14/05 10:36:31	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1222 AUTTO	CP8 CO2NV		07/14/05 10:36:31	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1223 AUTO	IV1 C02NV		07/14/05 10:36:37	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
1224 AUTTO	CP4 C02NV		07/14/05 10:36:57	-	DSI208I TIME EXPIRATION			
•					▼ ▶			

図 27. ログの表示

ブラウズ機能コマンドをテキスト・フィールドに指定することができます。このタ スク用のフィールドについての詳細な情報は、『タスク・アシスタント』を参照し てください。ブラウズ機能コマンドについての詳細な情報は、「NetView ヘルプの オープン」タスクを使用して、BROWSE コマンドのヘルプを表示してください。

# 第6章 コマンド・コンソールのオープン

ポートフォリオ内で「**コマンド・コンソールのオープン**」をクリックして、コマン ドを実行依頼します。このコマンドは、NetView コマンドまたは NetView CLIST (コマンド・リスト)のどちらでもかまいません。

テキスト・フィールド内で、実行したいコマンドまたは CLIST を入力し、「実行」 をクリックします。 図 28 のように、コマンドの応答がコマンド応答域に表示され ます。

注:

L

|

- 1. 応答が HTML または XML フォーマットの場合は、別個のブラウザー・ウィン ドウ内に表示されます。
- 2. 大きいカウントを指定した PING または TRACERTE のように、完了前の長期 間にわたって実行するコマンドを発行する場合は、NCCF コマンド行からのみコ マンドを発行します。このタイプのコマンドを別の場所で発行する場合は、大量 のストレージが必要で、出力は、コマンドが完了するまで表示されません。

Lommand Lonsole	
Previous Commands 🔻 🕴	■ NETVASIS [
dispik	
DISPLAY OF FF/FA KEY SETTINGS FOR NUCP	
RETITFE	
FAI INNED IGNORE REDEI WEIVIEW	
PA2 INNED ICHORE AUTOWRAF TOGGLE NETVIEW	
DE1 TWMED ADDEND WETD METUTEN	
PE2 INMED APPEND CO NCCE	
PES IMMED IGNORE RETURN NETVIEW	
PF4 IMMED APPEND DISPEK NETVIEW	
PES IMMED IGNORE BROWSE NETLOGA NETVIEW	
PF6 IMMED IGNORE ROLL NETVIEW	
PF7 IMMED.APPEND TASKUTIL NCCF	
PF8 IMMED.IGNORE PIPE NETVIEW LIST STATUS= NCCF	
OPELCOT LOONE ONTY	
Clear Responses	
Close Teek	
CIUSE LASK	
4	

図 28. コマンド・コンソールとコマンドの応答

NetView for z/OS プログラムは、NETVASIS チェック・ボックスが選択されていない場合は、処理の前に小文字を大文字に変換します。

前に実行したコマンドを実行することができます。「前のコマンド」ボタンをクリ ックしてコマンドのリストを確認し、次にコマンドをクリックしてコマンド名をテ キスト・フィールドに置きます。必要に応じて、テキスト・フィールド内に表示されているコマンドを変更できます。「実行」をクリックして、そのコマンドを実行 します。

注: 「NETVASIS」チェック・ボックスを表示するかどうか、「前のコマンド」リ ストの長さ、および、スクロールせずにコマンド・コンソール応答域に表示で きる行数など、コマンド・コンソールのプリファレンスを設定できます。詳細 な情報は、15ページの『第2章ユーザー・プリファレンスの設定』を参照し てください。

# 第7章 NetView ヘルプのオープン

ポートフォリオ内で「**NetView ヘルプのオープン**」をクリックして、メッセージと コマンドの NetView オンライン・ヘルプにアクセスします。

テキスト・フィールド内で、表示したい NetView for z/OS コマンドまたはメッセー ジを入力し、「実行」をクリックします。 図 29 に示されているように、フォーマ ット済みの結果がビューの下部に表示されます。

Dpen NetView Help	i ? 🗙
NetWewfor z/0S Help	
Provinue Hain *	
DISPFK (NCCF; CNME1048)	
Syntax	
DISPFK	
current_application DISPLAY	
+- MLT+	
+- application+	
·- ?·······························	
Purpose of Command	
The DISPFK command list enables you to display or save the PF key	
settings for various NetView components.	
Operand Descriptions	
ALL Lists or saves PF or PA key settings for all applications.	
ALT	•

図 29. NetView for z/OS ヘルプと結果

ー般に、以下の項目のいずれもテキスト・フィールドに指定することができます。 ここで、*command* はコマンド、*command\_list* はコマンド・リスト、*message\_ID* は メッセージ ID 番号、および *component* はコンポーネント名 (NCCF または NLDM など) です。

- ・コマンド
- command
- command\_list
- message\_ID
- component
- component コマンド
- component command

コマンドのヘルプには、構文キーワードとキーワードの説明との間のリンクが含ま れている場合があります。メッセージ・ヘルプで、**関連コマンド**のセクション内に コマンドがリストされている場合、それぞれのコマンド名はそのコマンドの NetView オンライン・ヘルプにリンクしています。このビューに表示されるヘルプ は、NetView 3270 セッションから表示されるヘルプと同じものです。

前に表示したヘルプを表示することができます。「前のヘルプ」ボタンをクリック して、前に表示したヘルプのコマンドまたはメッセージ ID のリストを確認し、次 にコマンドまたはメッセージ ID をクリックして、それをテキスト・フィールドに 置きます。「実行」をクリックして、そのヘルプを表示します。

# 第8章 プロシージャーの起動

ポートフォリオ内の「**プロシージャーの起動**」をクリックして、以下のタイプのいずれかの Uniform Resource ID (URI) を開きます。

- Web アドレス (HTTP または HTTPS の使用)。Web サイト (たとえば、会社の 操作指示書) を開きます。
- メール・アドレス (mailto の使用)。E メールを送信するデフォルトの E-mail プログラムを開きます。
- FTP アドレス (FTP の使用)。FTP サイトを開きます。
- 注: この URI は、webmenu ステートメントを使用して定義されます。詳細な情報 については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファ* レンス」を参照してください。

## 第9章 DVIPA 状況の表示

ポートフォリオ内の「**DVIPA 状況の表示**」をクリックして、動的仮想 IP アドレス (DVIPA) の状況を表示します。

注: DVIPA 管理は、CNMSTYLE 内の TOWER ステートメントを使用して使用可 能にする必要があります。 DVIPA サポートの使用可能化についての詳細な情 報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構* 成」マニュアルを参照してください。

最初に、「DVIPA 状況ホスト・フィルター」ビューを使用して、図 30 に示されて いるように、表示されている DVIPA レコードを制御するホスト・フィルターを設 定します。

View DVIPA Status	? ×
DVIPA Status Host Filters	
*TCP Name	
≠z/OS Image Name	
*DVIPA	
Origin *	
Logical Filter	
I © AND I © OR	
OK Restore Defaults Close Task	

図 30. DVIPA 状況ホスト・フィルター

フィルターを指定した後で、「OK」をクリックして「DVIPA 状況」ビューを表示 します。デフォルトのフィルター設定値を使用すると、40ページの図 31 に示され ているようなビューが表示されます。ユーザーが指定したホスト・フィルターは、 「ホスト・フィルター設定」のワークエリアの最上部に参照が付いています。

View DVIPA Status         i         ?         X													
DVIPA Status H	<u>ost Filters</u> 🕨 Dv	/IPA Status					<u> </u>						
	Und Filter Caddings												
Host Filter	TCP Name   7/OS Image Name   DVIPA   Origin   Logical Filter												
TOP Name													
AND													
🐯 [] Open Incident													
444 4	🚓 🧐 🖉 🖿 🗃 📴 Select Action 🔽 Go												
Select ^	DVIPA ^	z/OS Image Name 🗠	TCP Name \land	Origin 🗠	Status in	Mobility 🗠	Distributor Status						
0	201.2.20.11	TVT2003	TCPIP3	backup	Dbackup	none	target						
0	201.2.20.11	TVT2017	TCPIP17	backup	Dbackup	whenIdle	target						
0	201.2.20.11	TVT2004	TCPIP4	define	active	whenIdle	distributorAndTarge						
0	201.2.20.12	TVT2003	TCPIP3	backup	Dbackup	none	target						
0	201.2.20.12	TVT2017	TCPIP17	backup	Dbackup	whenIdle	none						
0	201.2.20.12	TVT2004	TCPIP4	define	active	whenIdle	distributor						
0	201.2.20.13	TVT2004	TCPIP4	backup	Dbackup	whenIdle	none						
0	201.2.20.13	TVT2017	TCPIP17	backup	Dbackup	whenIdle	none						
0	201.2.20.13	TVT2003	TCPIP3	define	active	whenIdle	none						
0	201.2.20.21	TVT2003	TCPIP3	backup	Dbackup	none	none						
0	201.2.20.21	TVT2004	TCPIP4	backup	Dbackup	whenIdle	none						
0	201.2.20.21	TVT2017	TCPIP17	define	active	whenIdle	none 🗾						
4							<u>+</u>						

図 31. DVIPA 状況

DVIPA 状況は、定期的に NetView タイマーを使用して収集されます。 DVIPA 状況を収集する時間間隔は、ホストで CNMSTYLE.DVIPAINTVL 変数を使用して設定 されます。いつ DVIPA 状況が最後に収集されたのか、またはいつ再び収集される のかを確認するには、あるいは、ブラウザーの最新表示率またはいつデータが最後 に更新されたのかを確認するには、カーソルを「最新表示」ボタンの上に移動して ください。最後の DVIPA 状況収集が最後のデータ更新よりも後に行われていた場 合、「最新表示」ボタンをクリックすることによって、そのデータをリフレッシュ することができます。

注: DVIPA 状況の要求は、単一の自動タスクによって処理されます。数人のユーザ ーが DVIPA 状況データを同時にリフレッシュする場合は、パフォーマンスに 影響を与えることがあります。ご使用の SYSPLEX のサイズおよび収集するデ ータの量によっては、DVIPA 状況データをリフレッシュするのに数分かかる場 合があります。 DVIPA 状況の収集の間にデータが数回リフレッシュされるよ うに、ブラウザーの最新表示率が設定されている場合、データの自動最新表示 を中断する許可があれば、そうすることをお勧めします。また、DVIPA 状況が もうすぐ収集される予定であれば、収集が行われてユーザーのデータがリフレ ッシュされるまで待つことをお勧めします。

Web アプリケーションで表示するために送信できる DVIPA の最大数は、ホストで CNMSTYLE.DVIPAMAX 変数を使用して設定されます。以下のテーブル・フッタ ー・フィールドが、DVIPA レコードについての情報を提供します。

- 「一致したレコード」は、ホスト・フィルターに関係なく、DVIPA レコードの総数を示します。
- 「合計」は、ホスト・フィルターと一致する DVIPA レコードの数を示します。
   CNMSTYLE.DVIPAMAX 変数の値によって変わります。ホスト・フィルターと一

致する DVIPA レコードの数が、Web アプリケーション (CNMSTYLE.DVIPAMAX 値) に送信できる数より大きい場合は、DWO979I メッ セージが表示されます。

「フィルタリング済み」は、テーブル内でアクティブ・フィルターと一致する、
 戻り DVIPA レコードの数を示します。

DVIPA を選択すると、「**インシデントのオープン**」ボタンをクリックすることによって、インシデントをオープンすることができます。詳細な情報については、73ペ ージの『第 18 章 インシデント・レポートのオープン』を参照してください。

# 第 10 章 DVIPA ディストリビューターの表示

ポートフォリオ内の「**DVIPA ディストリビューターの表示**」をクリックして、特定 の動的仮想 IP アドレッシング (DVIPA) ディストリビューター、ターゲット、およ び接続についての情報にアクセスします。

注: DVIPA 管理は、CNMSTYLE 内の TOWER ステートメントを使用して使用可 能にする必要があります。 DVIPA サポートの使用可能化についての詳細な情 報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構* 成」マニュアルを参照してください。

「DVIPA シスプレックス・ディストリビューター」ビューが、図 32 のように表示 されます。

Ð	→         Mew DVIPA Distributors         i         ?         ×												
DVIPA Sy	splex	Distributors											
	じし View DVIPA Distributor Targets												
444 4	🚓 🕹 🔏 🚛 🎩 🚛 Select Action 🔽 Go												
Select	h ^	DVIPA ^	DVIPA Port \land	z/OS Image Name 🗠	TCP Name \land	Number of Targets 🗠	Number of Listen						
0		201.2.20.11	20	TVT2004	TCPIP4	3							
0		201.2.20.11	21	TVT2004	TCPIP4	3							
۲		201.2.20.11	23	TVT2004	TCPIP4	3							
0		201.2.20.11	623	TVT2004	TCPIP4	3							
0		201.2.20.12	20	TVT2004	TCPIP4	1							
0		201.2.20.12	21	TVT2004	TCPIP4	1							
0		201.2.20.12	23	TVT2004	TCPIP4	1							
0		201.2.20.12	623	TVT2004	TCPIP4	1							
	Total: 8 Filtered: 8 Selected: 1 Last Update: 08/04/05												
Clos	e Tas	sk											

図 32. DVIPA シスプレックス・ディストリビューター

「DVIPA シスプレックス・ディストリビューター」ビューから、シスプレックス・ ディストリビューターを選択して、テーブル・アクション・リストの「DVIPA の表 示」をクリックし、次に「実行」をクリックすることによって、DVIPA 情報を表示 することができます。表示コマンドが発行され、「コマンド・コンソール」ビュー でその結果が表示されます。

「DVIPA シスプレックス・ディストリビューター」ビューからシスプレックス・デ ィストリビューターを選択して、「View DVIPA ディストリビューター・ターゲッ ト」をクリックすることにより、ディストリビューター・ターゲット情報を表示す ることができます。ディストリビューター・ターゲット情報は、44 ページの図 33 のように、「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ビュー内に表示されま す。選択済みシスプレックス・ディストリビューターは、ワークエリアの最上部に 参照が付いています。

L

<b>I</b>		View DVIPA Dis	stributors				i 1						
DVIPA Sysplex	Distributors 🕨 DVIPA Distributor Targets												
DVIPA Sys	DVIPA Sysplex Distributor Reference												
DVIPA	DVIPA Port z/OS Image Name	TCP Name	Number of Ta	rgets	Number of Lis	stening S	ervers						
201.2.20.11	I 23 TVT2004	TCPIP4		3			З						
*** ***	Image: Select Action         Image: Select Action												
Select ^	Destination z/OS Image Name   ^	Destination T	CP Name \land	XCF II	P Address 🗠	Number	of Servers	^	Ν				
۲	TVT2004	TCPIP4		193.9.	100.1			1					
0	TVT2003	TCPIP3		193.9.	100.2			1					
0	TVT2017	UNKNOWN		193.9.	100.3			1					
					Т	otal: 3 F	Filtered: 3	Sele	ec1				
Back	ose Task												

図33. DVIPA ディストリビューター・ターゲット

「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ビューからディストリビューター・ ターゲットを選択して、「DVIPA 接続の表示」をクリックすることにより、接続情 報を表示することができます。「DVIPA 接続ホスト・フィルター」ビューが、図 34 のように表示されます。選択済みディストリビューター・ターゲットは、ワーク エリアの最上部に参照が付いています。このビューで、使用したいフィルターを指 定して、「OK」をクリックします。

	View DVIPA Distributors         I ? X												
DVIPA Sysplex D	listributors 🕨 DVII	PA Distributor Targets DVIPA Connection	ns Host Filters										
DVIPA Distributor Target Reference													
DVIPA	DVIPA Port	Destination z/OS Image Name	Destination TCP Name	XCF IP Address									
201.2.20.11	23	TVT2004	TCPIP4	193.9.100.1									
*APPL Nam * *LU Name * *Remote IP *	e Address												
*Remote Po *	rt												
Logical Filter	,												
O AND C AND													
• UK													
OK Re	store Defaults	Back Close Task											

図 34. DVIPA 接続ホスト・フィルター

デフォルトを受け入れると、45ページの図35のような「DVIPA 接続」ビューが 表示されます。選択済みディストリビューター・ターゲットは、ワークエリアの最 上部に参照が付いています。

1

Ι

Ð	→ Mew DVIPA Distributors i ? 🗙												
DVIPA Sysplex Distributors 🌢 DVIPA Distributor Targets 🌢 DVIPA Connections Host Filters 🌢 DVIPA Connections													
DVIPA Distributor Target Reference													
DVIPA DVIPA Port Destination z/OS Image Name Destination TCP Name XCF IP Address													
201.2.20.11	201.2.20.11 23 TVT2004 TCPIP4 193.9.100.1												
8 II	811												
***	? 🖉 🖻 📜	👕 🅐 🖵 Sele	ect Action	G0									
Select ^	Remote IP Address	s 🛆 Remote Port 🛆	Bytes Sent 🗠	Bytes Received	Server Job N	lame 🗠	Connec						
0 2	201.2.20.11	1036	546	45,94	7 TCPIP4		2157						
Total: 1 Filtered: 1 Selected: 0													
Back Clo	Back Close Task												

図 35. DVIPA 接続

「DVIPA 接続」ビューから、テーブル・アクション・リストの多数のアクションが 使用可能です。リモート IP アドレスの詳細、LU、またはアプリケーションなどの 接続についての情報を表示できます。接続を除去すること、あるいは、リモート IP アドレスへの経路をトレースまたは ping することができます。

# 第 11 章 TCP/IP 接続の管理

L

L

I

ポートフォリオ内の「TCP/IP 接続の管理」をクリックして、開始および停止時刻、 トラフィック統計、またはソケット情報などの TCP/IP 接続データを処理します。 TCP/IP 接続データは、現在 NetView for z/OS プログラムによって管理されている TCP/IP スタックに使用可能です。

注: リアルタイム TCP/IP 接続管理を使用可能にする方法についての詳細情報は、 「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参 照してください。

図 36 に示されているような「スタックの選択」ビューがワークエリア内に表示され ます。このテーブルは、NetView for z/OS プログラムに認識されている TCP/IP ス タックを含みます。このビューから、TCP/IP スタックを選択して、そのスタックの 接続データを照会またはパージすることができます。

Ð			Mar	hage TCP/IP Connection	าร	i ? 🗙						
Select Stack												
Query Connection Data         Purge Connection Data												
***	🚓 🧐 🖉 🔝 🚍 昧 🔤 Select Action 💌 Go											
Select	∧ TCP Name	Туре 🛆	Domain 🗠	Policy Name 🗠	Host Name ^	Primary IP Address						
0	TCPIP	TCPIP	A01NV	TVT2002	TVT2002.tivlab.raleigh.ibm.com	9.42.45.131						
0	TCPIP3	TCPIP	C01NV	TVT2003	TVT2003.tivlab.raleigh.ibm.com	9.42.45.132						
۲	TCPIP4	TCPIP	C02NV	TVT2004	TVT2004.tivlab.raleigh.ibm.com	9.42.45.133						
0	TCPIP17	TCPIP	D16	TVT2017	TVT2017.tivlab.raleigh.ibm.com	9.42.45.146						
Total: 4 Filtered: 4 Selected: 1 Last Update: 08/24/05 17:13:04 ES												
Close	Close Task											

図 36. 「TCP/IP 接続の管理」の「スタックの選択」ビュー

#### 接続データの照会

特定のスタックについて、現行の (アクティブ) 接続および接続の履歴 (非アクティブ) を照会することができます。 IBM Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks がインストール済みで構成済みの場合は、Web アプリケーションからこの プロダクトのパフォーマンス・データを表示することもできます。このセクション に記述されている例は、タスクを介してナビゲートし、特定のスタックを介する現行 TCP/IP 接続のデータおよびその接続に相関関係のある Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks パフォーマンス・データを表示する方法を示しています。

図 36 に示されているように、テーブル内のスタックを選択して、「**接続データの照** 会」をクリックします。 48 ページの図 37 のような「TCP/IP 接続データの照会」 ビューがワークエリア内に表示されます。

Manage TCP/IP Connections	i ? 🗙									
Select Stack  Query TCP/IP Connection Data										
Stock Deference										
TCP Name Type Domain Policy Name Host Name Primary IP Address										
TCPIP4 TCPIP C02NV TVT2004 TVT2004 tivlab raleigh ibm com 9 42 45 133										
(*.*)     (*.*)       *Maximum Connections     *Force Connections       -10     No										
-10     No       Connection Type       © Live       C Historical       OK     Restore Defaults       Back     Close Task       Select Local IP Address     Select Local Port										

図 37. TCP/IP 接続データの照会

デフォルト値が表示されます。参照スタックのすべてのアクティブ・ローカル IP アドレスを含むテーブルからローカル IP アドレスを選択するには、「ローカル IP アドレスの選択」をクリックします。参照スタックの指定済みローカル IP アドレ スにバインド済みのすべての listen ローカル・ポートを含むテーブルから 1 つ以上 のローカル・ポートを選択するには、「ローカル・ポートの選択」をクリックしま す。

フィルタリング基準を指定して、情報を表示したい接続を確認した後で「OK」をク リックすると、49ページの図 38のような「TCP/IP 接続データの表示」ビューがワ ークエリア内に表示されます。このビューは、テーブル内の検索された接続データ を表示します。テーブルの各行がフィルター基準と一致する接続を示します。デー タ・フィールドのすべてが、すべての接続で使用可能とは限りません。

Ð				М	anage TCP/IP Connections		[	i ? 🗙					
Select Stac	<u>sk 🕨 Qu</u>	iery TCP/IP Connectio	<u>n Data</u> 🕨 View TCP	/IP C	onnection Data			<b>^</b>					
Stack B	Stack Reference												
TCP Na	ame 🛛	Type Domain	Policy Name	Ho	ost Name	Primary IP A	ddress						
TCPIP4	t i	TCPIP CO2NV	TVT2004	ΤV	T2004.tivlab.raleigh.ibm.o	om 9.42.45.133							
🛞 🔲 Open Incident Query Performance Data Query IP Packet Trace Data Form													
444 4	*	22		<b>[</b>	Select Action	💌 Go							
Select	~ L	ocal IP Address	^ Local Port	^	Remote IP Address _^	Remote Port 🗠	Connection State	^ Idle T					
0	9.	42.45.133	19	920	9.42.9.183	3542	established	00 00					
۲	9.	42.45.133		23	9.27.132.216	1681	established	00 00					
0	9.	42.45.133	1(	041	9.42.8.185	17510	established	00 00					
0	9.	42.45.133	19	918	9.42.45.133	1034	established	00 00					
0	9.	42.45.133	10	034	9.42.45.133	1918	established	00 00					
0	9.	42.45.133	19	920	9.42.45.133	1033	established	00 00					
0	9.	42.45.133	10	033	9.42.45.133	1920	established	00 00					
0	12	27.0.0.1	10	024	127.0.0.1	1025	established	80 00					
0	12	27.0.0.1	10	025	127.0.0.1	1024	established	80 00					
Matche	Matched Records: 9												
Back	Back Close Task												
•								• •					

図 38. TCP/IP 接続データの表示

このビューから、いくつかのアクションが使用可能です。

- インシデント・レポートをオープンすることができます。詳細な情報については、73ページの『第 18 章 インシデント・レポートのオープン』を参照してください。
- パフォーマンス・データを照会できます。
- IP パケット・トレース・データを照会またはフォーマットできます。詳細な情報 については、53ページの『第 12 章 IP パケット・トレース・データの管理』を 参照してください。
- テーブル・アクション・リストから、ユーザーが選択した接続のタイプおよび状況に応じて、ローカルまたはリモート IP アドレスを ping する、ローカルまたはリモート IP アドレスまたは接続の詳細を表示する、APPL または LU を表示する、あるいは、ローカル・ポートを静止または再開することができます。

次に、テーブル内の接続を選択します。 Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks がインストール済みで、NetView for z/OS プログラムに定義済みの場合 は、「パフォーマンス・データの照会」ボタンが使用可能になります。

注: 接続を選択しても「パフォーマンス・データの照会」ボタンが使用不可のまま の場合は、Tivoli Enterprise Management Server SOAP サーバーのエンドポイン トのロケーションが CNMSTYLE メンバー CNMSTWBM に定義済みで、少な くとも 1 つの Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks ターゲットが CNMSTYLE メンバー CNMSTWBM に定義されていることを確認してくださ い。 Tivoli Enterprise Management Server SOAP サーバーの使用可能化についての詳細な情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参照してください。

「パフォーマンス・データの照会」をクリックします。選択済みスタックの TCP 名およびホスト名と一致する Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks ター ゲットが CNMSTYLE メンバー CNMSTWBM で見つからない場合は、エラー・メ ッセージが発行されます。一致するものが見つかると、図 39 に示されている「パフ ォーマンス・データの照会」ビューがワークエリア内に表示されます。

Ð				Manage	TCP/IP Connection	s			i ? 🗙			
Select Stack 🕨 🛛	uery TCP/	1P Connection	n Data 🕨 <u>View T</u>	CP/IP Connec	<u>xtion Data</u> 🕨 Query	Performance	e Data					
Stack Reference												
TCP Name	Type	Domain	Dolicy Nom	e Heet N	ama		Drimory ID Add	000	( )			
	торір	CO2MV/	толсу мані тултори		anne Mitivlohiroloigh	ihm com	9 42 45 133	633				
TCPIP4 TCPIP CU2NV TVT2004 TVT2004.tima0.faleign.tom.com 9.42.45.155												
Connection	Referei	nce										
Local IP Add	dress	Local Port	Remote IF	Address	Remote Port	Target A	vppl _ LU Name					
9.42.45.133	9.42.45.133 23 9.27.132.216 1681 TSOC0201 C02TCP02											
∗Tivoli Enterp sysadmin	irise Ma	nagement	Server User	ID *Tivoli E *	Enterprise Mana	gement S	Server Password					
Performance	Data In Data Tession I	Data										
Connection Type ⓒ Live ◯ Historical												
OK Re	store De	faults	Back Clo	se Task								

図 39. パフォーマンス・データの照会

このビューには、以下の項目が含まれています。

- どのスタックが選択済みかを示す参照行
- ・ どの TCP/IP 接続が選択済みかを示す参照行
- Tivoli Enterprise Management Server ユーザー ID とパスワードの入力フィールド
- パフォーマンス・データと接続タイプのフィルタリング用入力フィールド

接続データまたは TN3270 セッション・データおよび現行の接続または接続履歴を 要求することができます。 Tivoli Enterprise Management Server ユーザー ID とパ スワードを指定し、「**接続データ**」および「**ライブ**」を指定し、次に「OK」をクリ ックして、参照スタックおよび参照 TCP/IP 接続と一致する現行の Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks 接続のパフォーマンス・データを照会し ます。パフォーマンス・データの照会が正常に行われると、 51 ページの図 40 に示 されている「パフォーマンス・データの表示」ビューがワークエリア内に表示され ます。

+			Mana	ge TCP/IP (	Connections			i	? X				
Select Stack 🕨 🔍	Jery TCP/IP Con	nectionData 🕨 🛛	New TCP/IP Conn	ection Data	🕨 🕨 Query Perform	ince Data 🕨 View P	erformance Data						
Charle Datasa	Stack Deference												
TCD Name	Tuna Dam	oin Delieu I	Jama Haat	Nomo		Drimory ID /	ddroop						
	Type J Dom	iain j Fulicy i isztaty isztatyon		name 104 Abdeb	veleigh ihm ee		Nuuress		-				
TUFIF4 TUFIF UUZINA TATZUU4 TATZUU4.IMAD.Rateign.ibm.cum 9.42.45.155													
Connection Reference													
Local IP Add	ress   Local	Port Remo	te IP Address	Remo	te Port 🛛 Targe	t Appl 🛛 LU Nar	ne 🔤						
9.42.45.133		23 9.27.1	32.216		1681 TSOC	0201 C02TCF	PO2						
<b>8</b> II	Open Inc	cident V	ew Metrics										
*** *	2		🕐 🖅 S	elect Act	ion 🔽	Go							
Select ^ C	Connection S <sup>.</sup>	tate 🔺 Con	nection Start	Time 🗠	Target Appl	^   LU Name 🕜	Application N	Vame 🗠	Collect				
0	established	08/2	4/05 17:02:16	i	TSOC0201	C02TCP02	TCPIP4		08/24/0				
						Total: 1 Fi	tered: 1 Selec	ted: 0					
Back Clos	Back Close Task												

図 40. パフォーマンス・データの表示

このビューは、テーブル内で参照スタックおよび接続が一致する Tivoli OMEGAMON XE for Mainframe Networks の接続を表示します。

注: パフォーマンス・データが表示されない場合は、NetView for z/OS プログラム が正しく構成されていることを確認してください。詳細な情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参照してください。

「パフォーマンス・データの表示」ビューから接続を選択して、以下のアクション のいずれかを実行することができます。

- インシデント・レポートをオープンすることができます。詳細な情報については、73ページの『第 18 章 インシデント・レポートのオープン』を参照してください。
- パフォーマンス・メトリックスを表示できます。

接続を選択して「メトリックの表示」をクリックすると、52ページの図 41 に示されている「メトリックの表示」ビューがワークエリア内に表示されます。表示されたメトリックには、バイト送信/受信レート、セグメント送信/受信レート、およびその他多数の項目が含まれています。

→         Manage TCP/IP Connections         i         ?         ×														
Select Stack 🕨 Query TC	P/IP Connection	n Data	View TCI	P/IP Connec	tion	Data 🕨 Query I	Performanc	e Data	View I	Performan	ice Data	🕨 Viev	Metrics	<b></b>
Stack Reference														
TCD Name Type	Domain	Delie	v Nomo	Hoot N			_	Drive	any ID	Addrees	- (			
торіри торі			y Name nn <i>i</i>		anne Altis	lah ralainh i	hm com	9.42	лагун= ИБ 133	Auures:	5 ]			_
	02147	1 1 1 20	004	101200	4.11	nab.raieigii.i	oni.com	5.42	.40.100					
Connection Reference														
Local IP Address   Local Port   Remote IP Address   Remote Port   Target Appl   LU Name									_					
9.42.45.133	23	5 9.27	.132.216	2		1681	TSUCU2	:01	CUZIC	PU2				
OMEGAMON XE fo	or Mainfram	e Net	tworks (	Connecti	on F	Reference								
Connection State	Connection State Connection Start Time Target Appl LU Name Application Name Collection Time ASID Co													
established	08/24/05 17	7:02:1	6	TSOC020	)1	C02TCP02	TCPIP4			08/24/0	05 17:3	4:13	75	
Key Performance	Metrics													
Attribute			Value											
Response Time Va	ariance		0.24											
Segments Retrans	mitted (%)		0											
Retransmission Ra	ate (per minu	te)	0											
Transmit Byte Rate	e (per minute	e)	0											
Receive Byte Rate	(per minute)		0											
Total Byte Rate (pe	er minute)		0											
Transmit Segment Rate (per minute) 0														
Receive Segment F	Receive Segment Rate (per minute) 0													
Total Segment Rat	e (per minut)	e)	0											-
4														

図 41. メトリックの表示

#### 接続データのパージ

特定のスタックの接続データをパージすることもできます。「スタックの選択」ビ ュー (47 ページの図 36) から、スタックを選択して「接続データのパージ」をクリ ックすると、「TCP/IP 接続データのパージ」ビューがワークエリア内に表示されま す。このビューで、フィルタリング基準を指定して、どの接続レコードをパージす るのかを制御することができます。

注:選択済みスタックの TCP/IP 接続情報がパージには使用不可の場合、エラー・ メッセージが表示されます。ソケット・インターフェースを介する接続データ のリアルタイム収集が使用可能化されていない場合、接続データはパージでき ません。詳細な情報については、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール*: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。

パージのフィルタリング基準を指定した後で、「OK」をクリックします。このアク ションによって、ストレージ (現行の接続の場合) または DASD (非アクティブ接続 の場合) からスタックの接続データがパージされます。 CNMSTYLE の TCPCONN ステートメントまたはその組み込みメンバーによって、どちらの接続がデータをス トレージ内 (アクティブの間) または DASD 上 (非アクティブの間) に保持するの かが決まります。接続データがパージされた後に、パージされたレコードの数をリ ストするビューが表示されます。

注: TCPCONN ステートメントについての詳細な情報は、「IBM Tivoli NetView for z/OS アドミニストレーション・リファレンス」を参照してください。

## 第 12 章 IP パケット・トレース・データの管理

ポートフォリオ内の「IP パケット・トレース・データの管理」をクリックして、IP パケット・トレース・データを処理します。パケット・トレース・データは、現在 NetView for z/OS プログラムによって管理されている TCP/IP スタックに使用可能 です。

注: リアルタイム TCP/IP 接続管理を使用可能にする方法についての詳細情報は、 「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成*」を参 照してください。

図 42 に示されているような「スタックの選択」ビューがワークエリア内に表示され ます。このテーブルは、NetView for z/OS プログラムに認識されている TCP/IP ス タックを含みます。このビューから、TCP/IP スタックを選択して、そのスタックの IP パケット・トレース・データを照会、フォーマット、またはパージすることがで きます。

	→ Manage IP Packet Trace Data  i ? ×											
L	Select Stack											
L												
L	Query IP Packet Trace Data Format IP Packet Trace Data Purge IP Packet Trace Data											
	👯 🧐 🖉 🔳 👕 🕐 Select Action 🔽 Go											
L	Select /	TCP Name 🗠	Туре 🗠	Domain 🗠	^	Policy Name 🗠	Host Name	^	Primary IP Address			
L	0	TCPIP	TCPIP	A01NV		TVT2002	TVT2002.tivlab.raleig	h.ibm.com	9.42.45.131			
L	0	TCPIP3	TCPIP	C01NV		TVT2003	TVT2003.tivlab.raleig	h.ibm.com	9.42.45.132			
L	۲	TCPIP4	TCPIP	C02NV		TVT2004	TVT2004.tivlab.raleig	h.ibm.com	9.42.45.133			
L	0	TCPIP17	TCPIP	D16		TVT2017	TVT2017.tivlab.raleig	jh.ibm.com	9.42.45.146			
				Total: 4 F	Fili	tered: 4 Selected	ł: 1	Last	Update: 08/12/05 16:01			
	Close Task											

図 42. 「IP パケット・トレース・データの管理」の「スタックの選択」

#### IP パケット・トレース・データの照会とフォーマット

このセクションの例は、タスクを介してナビゲートし、IP パケット・トレース・デ ータを照会およびフォーマットする方法を示しています。

図 42 に示されているように、テーブル内のスタックを選択して、「IP パケット・ トレース・データの照会」をクリックします。 54 ページの図 43 に示されている 「IP パケット・トレース・データの照会」ビューがワークエリア内に表示されま す。

L

L

L

↔ Manage IP Packet Trace Data								
Select Stack D Query IP Packet Trace Data								
Stack Refere	ence							
TCP Name	Туре	Domain	Policy Name	Host Name		Primary IP Addres	S	
TCPIP4	TCPIP	C02NV	TVT2004	TVT2004.tiv	lab.raleigh.ibm.com	9.42.45.133		
*Local IP Address *Local Port								
*					*			
*Remote IP A	Address				*Remote Port			
*					*			
*Maximum P	ackets				∗Maximum Packet	t Lenath		
-10					65535	Ŭ		
Interface Name					• *Time Range			
					(*,*)			
OK Restore Defaults Back Close Task								
Select Local IP Address Select Local Port								

図 43. IP パケット・トレース・データの照会

デフォルト値が表示されます。参照スタックのすべてのアクティブ・ローカル IP アドレスを含むテーブルからローカル IP アドレスを選択するには、「ローカル IP アドレスの選択」をクリックします。参照スタックの指定済みローカル IP アドレ スにバインド済みのすべての listen ローカル・ポートを含むテーブルからローカ ル・ポートを選択するには、「ローカル・ポートの選択」をクリックします。

フィルタリング基準を指定して、情報を表示したいパケットを確認した後で「OK」 をクリックすると、55ページの図44のような「IPパケット・トレース・データの 表示」ビューがワークエリア内に表示されます。このビューは、テーブル内の検索 されたパケットを表示します。テーブルの各行がフィルター基準と一致するパケットを示します。
				Mar	age IP Packet Trace Data				i	? ×
TCP Name	Type D	)omain	Policy Name	Hos	t Name		Primary IP	⊃ Address	1	
TCPIP4	TOPIP CO	02NV	T√T2004 1	VΤ	2004.tivlab.raleigh.ibm.	.com !	9.42.45.13	33		
2 2	Format	t IP Pack	et Trace Data							
444 4	? 🖌 🗴	e 1		}	Select Action		💌 G	0		
Select ^	Time Stam	np ^	Interface Name	^	Local IP Address 🗠	Loca	l Port \land	Remote IP Add	ress ^	Remo
0	08/12/05 18	6:06:23	TCPIPLINK		9.42.45.133		8008	9.42.9.183		
0	08/12/05 16	6:06:23	TCPIPLINK		9.42.45.133		8008	9.42.9.183		
0	08/12/05 10	6:06:23	TCPIPLINK		9.42.45.133		8008	9.42.9.183		
0	08/12/05 10	6:06:24	TCPIPLINK		9.42.45.133		8008	9.42.9.183		
۲	08/12/05 10	6:06:24	TCPIPLINK		9.42.45.133		8008	9.42.9.183		
0	08/12/05 18	6:06:29	TCPIPLINK		9.42.45.133		1918	9.42.9.129		
0	08/12/05 10	6:06:29	LOOPBACK		127.0.0.1		1091	127.0.0.1		
0	08/12/05 10	6:06:29	TCPIPLINK		9.42.45.133		1918	9.42.9.129		
0	08/12/05 10	6:06:29	TCPIPLINK		9.42.45.133		1116	9.42.9.129		
0	08/12/05 10	6:06:30	TCPIPLINK		9.42.45.133		1116	9.42.9.129		
Matched Re	ecords: 2758	88							Total: 10	Filte
Back Cl	ose Task									

図 44. IP パケット・トレース・データの表示

- **注:** パケット・トレース・データが選択済みスタックには使用不可の場合、エラ ー・メッセージが表示されます。パケット・トレース・データが使用不可であ る理由は、以下のとおりです。
  - IP パケット・トレースが Communications Server で使用可能になっていません。詳細な情報については、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。
  - パケット・トレース・データの収集について、NetView for z/OS プログラム で構成されていません。 PKTS コマンドについての情報は、「IBM Tivoli NetView for z/OS コマンド解説書 第 I 巻」を参照してください。

「IP パケット・トレースの表示」ビューからパケット・トレース・レコードを選択 して、以下のアクションのいずれかを実行することができます。

- IP パケット・トレース・データをフォーマットできます。
- テーブル・アクション・リストから、ローカルまたはリモート IP アドレスを ping する、あるいは、ローカルまたはリモート IP アドレスへの経路をトレース することができます。

この例では、テーブル内のパケット・トレース・レコードを選択して、「**IP パケッ** ト・トレース・データのフォーマット」をクリックします。 56 ページの図 45 に示 されている「IP パケット・トレース・データのフォーマット」ビューがワークエリ ア内に表示されます。このビューを使用して、パケット・トレース・データをどの ようにフォーマットしたいのかを指定できます。

Ð	Manage IP	Packet Trace Data	i ? 🗙			
Select Stack 🕨 Query IP Packet Trace Data 🕼 View IP Packet Trace Data 🐌 Format IP Packet Trace Data						
Stack Reference						
TCP Name Type Domain Poli	cy Name 🛛 Host Nar	me Primary IP Address				
TCPIP4 TCPIP C02NV TVT2	2004 TVT2004	tivlab.raleigh.ibm.com 9.42.45.133				
*Local IP Address	-	*Local Port				
9.42.45.133		8008				
*Remote IP Address	1	*Remote Port				
9.42.9.183						
*Maximum Packets	1	*Maximum Packet Length				
- 10 Interface Name		*Time Denne				
	1	* Time Range (BD7395516D8C9005,BD7395516D8				
*Report Type SUMMARY -		*Convert Time Stamps				
Maximum Line Width of Generated F 250	Report	Maximum Records Released in Storage				
Specify SESSION Operand		Specify SEGMENT or NOSEGMNT Operand				
Format TCP and UDP Session Value DETAIL	s	*Recombine Segment Records SEGMENT ▼				
Specify DUMP Operand		Specify FMT Operand				

図 45. IP パケット・トレース・データのフォーマット

フォーマット・オプションを指定した後で「OK」をクリックすると、57 ページの 図 46 のような「フォーマット済み IP パケット・トレース・データ・レコード」ビ ューがワークエリア内に表示されます。

Ð				Manage IP Packet Trace Data		i ? 🗙
<u>Select Stack</u> 🕨 <u>Q</u>	Select Stack 🖗 Query IP Packet Trace Data 🖗 View IP Packet Trace Data 🄌 Format IP Packet Trace Data 🌢 Formatted IP Packet Trace Data Records					Records
61 L D C						
Stack Refere	ence	р ·				_
TCP Name	Туре	Domain	Policy Name	Host Name	Primary IP Address	
TCPIP4	TCPIP	CO2NV	TVT2004	TVT2004.tivlab.raleigh.ibm.com	9.42.45.133	
Command Is	sued					
NETVASIS   TIME=(BD7) LINESIZE=:	FMTPAC 395516 250 CL	KT TCPN D8C9005 EANUP=5	AME=TCPIP4 ,BD7395516D 00 SEGMENT	LADDR=9.42.45.133 LPORT 8C9005) MAXRECS=-10 TRU REASSEM=(65535,SUMMARY)	=8008 RADDR=9.42.9.183 NCATE=65535 COUNT=VES	3 RPORT=30 SUMMARY L
Command R BNH773I N	espons UMBER	e of pack	ETS: 1 , MI	SSED BUFFERS: 0 , TCPNAM	ME: TCPIP4	
z/OS TCP. **** 2005. I - Inbou 0 - Outbo	/IP Pa /08/12 nd pac und pa	cket Tr ket cket	ace Formatt	er, (C) IBM 2000-2005, 2	2005.047	
DP Nr hl OT164559	h:mm:s 16:06:	s.mmmmm 24.4855	m IpId S 77 5190 138	eq_num Ack_num Wndw 1939746 3404295683 3262(	Flags DatI DACK PSH	In Source/ 0 9.42.45 9.42.9.
No pa	ckets	require	d reassembl	у		_
SYSTCPDA ' 1 ct: 0 se 0 se	Trace race r gmente gmente	Statist ecords d trace d trace	ics processed records re records we	ad re lost		
1 trace records read 0 records could not be validated 1 records passed filtering 1 packet trace records processed 0 data trace records processed						
▲						•

図46. フォーマット済み IP パケット・トレース・データ・レコード

このビューには、選択済みスタック、発行された FMTPACKT コマンド、および FMTPACKT コマンドからのコマンド応答を示す参照行が含まれます。

前の例のような特定のパケット・トレース・レコードではなく、特定のスタックの IP パケット・トレース・データをフォーマットすることもできます。「スタックの 選択」ビュー (53 ページの図 42) からスタックを選択して、「IP パケット・トレ ース・データのフォーマット」をクリックすると、「IP パケット・トレース・デー タのフォーマット」ビューがワークエリア内に表示されます。フォーマット・オプ ションを指定した後で「OK」をクリックすると、「フォーマット済み IP パケッ ト・トレース・データ・レコード」ビューがワークエリア内に表示されます。これ らのビューの例については、56 ページの図 45 および 図 46 を参照してください。

#### IP パケット・トレース・データのパージ

特定のスタックの IP パケット・トレース・データをパージすることができます。 「スタックの選択」ビュー (53 ページの図 42) から、スタックを選択して「IP パ ケット・トレース・データのパージ」をクリックすると、「IP パケット・トレー ス・データのパージ」ビューがワークエリア内に表示されます。このビューで、フ ィルタリング基準を指定して、どの IP パケット・トレース・レコードをパージす るのかを制御することができます。

パージのフィルタリング基準を指定した後で、「OK」をクリックします。 IP パケット・トレース・レコードがパージされた後で、「パージ済み IP パケット・トレ ース・データ・レコード」ビューがワークエリア内に表示されます。このビューに は、パージされた IP パケット・トレース・レコードの数がリストされます。

### 第 13 章 SNMP MIB のロードおよびアンロード

ポートフォリオ内の「SNMP MIB のロード/アンロード」をクリックして、MIB または MIB グループを Web SNMP サービスにロードしたり、前にロードされた MIB または MIB グループをアンロードします。 MIB 変数は、ロードされていな いと使用できません。

注: このタスクは、SNMP サーバーが構成済みで稼働中であることが必要です。 SNMP サーバーの始動についての情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS イン* ストール: 追加コンポーネントの構成」および *netview\_installation\_dir/doc/* znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照してください。ユーザー自身の MIB の定義についての情報は、znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照 してください。

MIB または MIB グループが前にロードされていた場合は、図 47 のような「MIB のアンロード」ビューが表示されます。 MIB または MIB グループがロードされて いない場合は、60 ページの図 48 のような「MIB のロード」ビューが表示されま す。

MIB または MIB グループをアンロードするには、アンロードしたい MIB または MIB グループを選択して「MIB のアンロード」をクリックしてください。

Ð	Load/Unicad SNMP MIBs	i ? 🗙
Unload MIBs		
Unloa	ad a MIB Available MIBs	
	🖆 🐺 🥙 🌌 🕿 🔳 👕 🌁 📔 Select Action 🔽 Go	
Select ^	Loaded MIBs	<u>^</u>
	/mibs/rfc1213-MIB-II.mib	<u> </u>
	/mibs/rfc1903.mib	
	/mibs/rfc1907.mib	
	/mibs/rfc2233.mib	
	/mibs/IANAifType.mib	
	/mibs/fkxsnmp.grp	
	/mibs/ATM-ACCOUNTING-INFORMATION.mib	
	/mibs/ATM-TC.mib	
	/mibs/ATM.mib	
	/mibs/CISCO-CIPTCPIP.mib	
	/mibs/CISCO-SMI.mib	
	/mibs/CISCO-TN3270SERVER.mib	
	/mibs/IANA-ADDRESS-FAMILY-NUMBERS.mib	
	/mibs/IANA-LANGUAGE.mib	
	/mibs/IANATn3270eTC.mib	<b>-</b>
	Total: 30 Filtered	: 30 Selected: 0

図47. MIB のアンロード

MIB または MIB グループをロードするには、「使用可能な MIB」をクリックして ください。「MIB のロード」ビューが、図 48 のように表示されます。このビュー から、ロードしたい MIB または MIB グループを選択して「MIB のロード」をク リックします。「ロードされた MIB」をクリックすると、「MIB のアンロード」 ビューが表示され、ここでアンロードする MIB または MIB グループを選択できま す。

Load/Unioad SNMP MIBs			i ? 🗙
Unicad MIBs 🕨 Load a MIB			
Load a MIB Loaded MIBs			
🕞 🗈 👾 🜮 🖉 🔊 音 📝 🚽 Select Action	🔽 Go		
Select \land Available Mibs		^	
ATM-ACCOUNTING-INFORMATION.mib			<b>_</b>
ATM-TC.mib			
ATM.mib			
CISCO-CIPTCPIP.mib			
CISCO-SMI. mib			
CISCO-TN3270SERVER.mib			
☐ fkxsnmp.grp			
IANA-ADDRESS-FAMILY-NUMBERS.mib			
IANA-LANGUAGE.mib			
IANAifType.mib			
IANATn3270eTC.mib			
□ ibm3172.mi2			
□ IF-INVERTED-STACK.mib			
INET-ADDRESS.mib			
IP-FORWARD.mib			-
	Total: 32 F	iltered: 32	Selected: 0

図48. MIB のロード

### 第 14 章 MIB ブラウザーの起動

ポートフォリオ内の「**MIB ブラウザーの起動**」をクリックして、選択したホスト (複数可)の **MIB** オブジェクトおよび **MIB** グループの情報を表示します。

注: このタスクは、SNMP サーバーが構成済みで稼働中であることが必要です。 SNMP サーバーの始動についての情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS イン* ストール: 追加コンポーネントの構成」および netview\_installation\_dir/doc/ znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照してください。ユーザー自身の MIB の定義についての情報は、znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照 してください。

最初に MIB ブラウザーを始動したときは、Tivoli NetView for z/OS MIB ブラウザ ーが開いた後で、図 49 に類似した 2 番目のウィンドウが開きます。

注: 最初のウィンドウ (Tivoli NetView for z/OS MIB ブラウザー) で「?」をクリッ クすることによって、ヘルプが使用可能です。

NetView MIB Brow	wser					_ 🗆 ×
<u>N</u> ame or IP Addres *	S •	SNMP Version Version 1	Rea <u>d</u>	Community Name	Wri <u>t</u> e Community Nam	e ▼ <u>R</u> efresh
<ul> <li>Critt (0)</li> <li>Critt (0)</li> <li>Critt (0)</li> <li>Iso (1)</li> <li>Joint-iso-critt</li> <li>Groups (9)</li> </ul>	(2)					
	CNM14	04I The folder expans	sion is complet	e.		

図 49. MIB ブラウザー・ウィンドウ

このウィンドウで、名前または IP アドレス (たとえば、fred.tivlab.raleigh.ibm.com) を指定してください。同様に、Read Community 名 (public など)、および、必要に 応じて、Write Community 名も指定してください。

表示したい MIB オブジェクト (たとえば、システム) を検索するには、左側にある ナビゲーション・ツリーを展開します。 MIB オブジェクト (この場合は、システ ム) をクリックすると、62ページの図 50 のように、システムが右側に表示されま

NetView MIB Browser		
Name or IP Address SNMP Version I + tab.raleigh.ibm.com	Rea <u>d</u> Community Name public 🛛 🗸	Write Community Name
• internet (1)         • interctory (1)         • mgmt (2)         • mmb-2 (1)         • system (1)         • interfaces (2)         • interfaces (2)         • ip (4)         • ip (4)         • icmp (5)         • udp (7)         • egp (8)         • crmot (9)         • itanamission (10)         • snmp (11)         • ianaitType (30)         • iMIB (31)         • atmMIB (34)	system	<u>W</u> alk <u>S</u> top
CNM1409I Done.		
Java Applet Window		

図 50. システム MIB オブジェクトの MIB ブラウザー・ウィンドウ

システム MIB オブジェクトの MIB ツリーをウォークするには、「**ウォーク**」をク リックします。 図 51 に示されている情報と類似の情報が表示されます。



図 51. システム MIB オブジェクトをウォークした後の MIB ブラウザー・ウィンドウ

表示中の MIB オブジェクトに応じて、その親をウォークすること、グラフの作成、情報のリスト、または値の変更が可能です。詳細な情報については、Tivoli NetView for z/OS MIB ブラウザー・ウィンドウの「?」をクリックして、MIB ブラ ウザーのヘルプを参照してください。

### 第 15 章 リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動

ポートフォリオ内の「**リアルタイム・ポーリング・プログラムの起動**」をクリック し、ポーリングして、ホストに関連した MIB ベースのパフォーマンス・データの リアルタイム・グラフを表示します。いくつかの異なるホストからの、いくつかの ポーリング・オブジェクトのデータを、単一のグラフ上に結合することができま す。ポーリング・オブジェクトのポーリング間隔およびグラフ上に表示される点の 最大数を指定することもできます。

注: このタスクは、SNMP サーバーが構成済みで稼働中であることが必要です。 SNMP サーバーの始動についての情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS イン* ストール: 追加コンポーネントの構成」および netview\_installation\_dir/doc/ znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照してください。ユーザー自身の MIB の定義についての情報は、znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照 してください。

最初にリアルタイム・ポーリング・プログラムを始動したときは、Tivoli NetView for z/OS リアルタイム・ポーリング・プログラムが開いた後で、「新規ホストの追加」ウィンドウが開きます。

注: 最初のウィンドウ (Tivoli NetView for z/OS リアルタイム・ポーリング・プロ グラム) で「?」をクリックすることによって、ヘルプが使用可能です。

「新規ホストの追加」ウィンドウで、ポーリングしたいホストを指定します。ホス ト名 (fred.tivlab.raleigh.ibm.com など)、コミュニティー名、およびポーリング間隔を 指定して、次に「追加」をクリックします。 66 ページの図 52 に示されているウィ ンドウと類似のウィンドウが表示されます。



図 52. リアルタイム・ポーリング・プログラムのウィンドウ

次に、ポーリングしたい項目 (複数可)を「ポーリング・オブジェクト」エリアに置きます。たとえば、fred.tivlab.raleigh.ibm.com システムの入出力 IP パケットをポーリングしたい場合は、mib2.model.IP まで進んで、正符号 (+) をクリックして展開します。次に、「IP In/Out Pkts」、「IP Input Pkts」および「IP Output Pkts」をクリックして、これらの項目を「ポーリング・オブジェクト」リストに置きます。

次に、ポーリングする項目を「ポーリング・オブジェクト」リスト内でクリックす ることによって選択します。同時にポーリングされるいくつかのオブジェクトを選 択するには、それぞれのオブジェクトをクリックする間は Ctrl を押したままにして ください。たとえば、入出力パケットをポーリングするには、「IP In/Out Pkts」、 「IP Input Pkts」、および「IP Output Pkts」をクリックする間は Ctrl を押した ままにして、67 ページの図 53 に示されているような「ポーリング・オブジェク ト」リスト内でこれらの項目を選択します。



図 53. リアルタイム・ポーリング・プログラムとポーリング用に選択済みのポーリング・オブ ジェクト

ポーリングおよびグラフの作成を開始するには、「開始」をクリックします。グラ フでは、それぞれのポーリング・オブジェクトごとに線が表示されます。この例の ように、いくつかのオブジェクトがポーリングされる場合、それぞれの線の色は、 68 ページの図 54 のように、「ポーリング・オブジェクト」リスト内のオブジェク トの色と一致しています。



図 54. リアルタイム・ポーリング・プログラムのグラフ

ポーリングが開始された後には、いつでも「**グラフのクリア**」をクリックしてグラ フをクリアし、新規のグラフを開始できます。

ポーリングおよびグラフの作成は、停止するまで継続されます。ポーリング・オブ ジェクトのポーリングおよびグラフの作成を停止するには、そのポーリング・オブ ジェクトをクリックして、次に「停止」をクリックします。いくつかのポーリン グ・オブジェクトのポーリングおよびグラフの作成を同時に停止するには、それぞ れのオブジェクトをクリックする間は Ctrl を押したままにして、次に「停止」をク リックします。

### 第 16 章 SNMP コマンドの発行

ポートフォリオ内の「SNMP コマンドの発行」をクリックして、SNMP コマンドを 発行します。発行できる SNMP コマンドのリストは、図 55 に示されている 「SNMP コマンド」ビュー内に表示されます。

注: コマンドがこのビューでアクティブ・リンクとして表示されない場合は、SNMP サーバーが構成済みで稼働中であることを確認してください。SNMP サーバー の始動についての詳細な情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS インストール:* 追加コンポーネントの構成」および *netview\_installation\_dir/doc/* znetview\_webapp\_readme\_en.htm ファイルを参照してください。

Issue SNMP Commands	i ?	X
SNMP Commands		
Cat		
Set		
Walk		
GetNext		
GetBulk		
BulkWalk		
Remote Ping		
Close Task		

図 55. SNMP コマンド

発行したいコマンドをクリックすると、コマンド・パラメーターを指定するための フィールドがあるコマンド・ビューが表示されます。コマンドの情報を指定した後 で「OK」をクリックすると、コマンドが発行されます。発行済みコマンドおよびそ のコマンドの結果が「SNMP コマンド応答」ビューに表示されます。

たとえば、「取得」をクリックすると、70ページの図 56 のような「取得」が表示 されます。

Issue SNM	P Commands i ? 🗙
SNMP Commands 🕨 Get	
+Host Name or IP Address	*Community Name
∗Timeout Value <mark>30</mark>	*Port Number 161
*Number of Retries 3	*SNMP Version
*MIB Variables	
OK Restore Defaults Back Close Task	

図 56. 取得

たとえば、ホスト名を fred.tivlab.raleigh.ibm.com、コミュニティー名を public、およ び MIB 変数を sysContact.0 と指定すると仮定します。「OK」をクリックすると、 図 57 に示されているビューと類似の「SNMP コマンド応答」ビューが表示されま す。このビューには、発行された SNMP コマンドおよびそのコマンドの応答が表示 されます。

	Issue SNMP Commands	i ? ×
SNMP Commands > Get > SNMP Command Respons	e	
SNMP Command Issued Get variables=sysContact.0 hostname=fred.tivlab.raleigh.ibm.com port=101 timeout=30 retries=3 communityName=****** version=1	*	
SNMP Command Results sysContact.0:Test Lead	<u> </u>	
	V	
Back Close Task		

図 57. Get コマンドの SNMP コマンド応答

注: SNMP データは変換されず、複数バイト文字は使用不可であるため、英語以外の SNMP データは、Web アプリケーションで正しく表示できません。

### 第 17 章 3270 コンソールのオープン

ポートフォリオ内の「**3270 コンソールのオープン**」をクリックして、端末エミュレ ーターを使用せずに、ブラウザーから 3270 パネルにアクセスします。それを選択 すると、「3270 コンソール」ビューが表示されます。

Ð	Open 3270 Console	i ? ×
	Cursor 24 1 Refresh 0 Go Hide Keypad Set Colors	
1	HetView V5R2 - NM Tivoli NetView D12NV BEVERLY 07/14/05 16:13:51 - D12NV DS10381 BEVERLY reconnected.	
		_
-	???	

図 58. 3270 コンソール

「3270 コンソール」ビューに表示されているコマンド・ファシリティーから、その 他の NetView ホスト 3270 パネルにアクセスできます。「3270 コンソール」ビュ ーでは、3270 セッションの使用時と同じ NetView 機能が使用可能です。「3270 コ ンソール」ビューのカラー、および、キーパッドを隠すかまたは表示するかどうか も設定できます。

注:

- 1. Web アプリケーション 3270 コンソールでは、24 行 x 80 桁の画面サイズが 8 カラー・モードのみでサポートされています。
- 2. このタスクは、ユーザー・プリファレンスの影響を受けません。

1 つのユーザー ID で、同時にオープンできる Web アプリケーション 3270 コン ソールは 1 つのみです。 Web アプリケーションで 3270 コンソールをオープンし ていて、同じユーザー ID を使用して Web アプリケーションを再び開始し、別の Web アプリケーションで 3270 コンソールをオープンすると、オリジナルの 3270 コンソールは使用不可になります。オリジナルの 3270 コンソールを使用するに は、最初の Web アプリケーションで 3270 コンソール・タスクを停止して、再始 動する必要があります。

同じユーザー ID で NetView 3270 管理コンソールに後でログオンする場合、また は NetView 3270 セッションでテークオーバー・オプションが yes に設定されてい る場合にも、Web アプリケーション 3270 コンソールは使用不可になります。 Web アプリケーション 3270 コンソールを使用するには、Web アプリケーションで 3270 コンソール・タスクを停止して、再始動する必要があります。

3270 セッションの使用についての詳細な情報は、「*IBM Tivoli NetView for z/OS* ユ ーザーズ・ガイド」を参照してください。「3270 コンソール」ビューとその使用法 についての詳細は、『タスク・アシスタント』を参照してください。

### 第 18 章 インシデント・レポートのオープン

インシデント管理アプリケーションが構成されると、「**インシデントのオープン**」 ボタンが以下のタスクで使用可能になります。

- イベントのブラウズ: 23ページの『第3章 イベントのブラウズ』を参照してく ださい。
- シスプレックス・トポロジーのブラウズ: 27ページの『第4章 シスプレック ス・トポロジーのブラウズ』を参照してください。
- DVIPA 状況の表示: 39 ページの『第 9 章 DVIPA 状況の表示』を参照してください。
- TCP/IP 接続の管理: 47 ページの『第 11 章 TCP/IP 接続の管理』を参照してく ださい。

「**インシデントのオープン**」をクリックすると、「インシデントのオープン」ビュ ーがワークエリア内に表示されます。このビューを使用して、ユーザーのインシデ ント管理アプリケーションにアクセスし、インシデント・レポートをオープンして ください。

#### 注:

- インシデント管理アプリケーションの構成要件についての情報は、「IBM Tivoli NetView for z/OS インストール: 追加コンポーネントの構成」を参照してください。 IBM Tivoli Information Management for z/OS または Peregrine Systems ServiceCenter を、インシデント管理アプリケーションとして構成することができます。
- 関連イベントのテーブルは、「イベントのブラウズ」タスクでインシデント・レポートをオープンしている場合のみ表示されます。このテーブルは、「イベント・ビューアー」ビューで使用可能なイベントのスナップショットです。このテーブルで、レポート作成中のイベントに関連したイベントを選択できます。ユーザーが選択する関連イベントは、すべてインシデント記述に含まれています。
- インシデント管理アプリケーションの構成方法によっては、「インシデントのオープン」ビューのフィールドが異なります。「インシデントのオープン」ビューのフィールドの説明については、『タスク・アシスタント』を参照してください。フィールドについての詳細な情報は、ご使用のインシデント管理アプリケーションの資料を参照してください。

# IBM Tivoli Information Management for z/OS のインシデント・レポートのオープン

選択したイベントのインシデント・レポートをオープンしていて、IBM Tivoli Information Management for z/OS がエンタープライズのインシデント管理アプリケ ーションとして構成済みの場合は、74ページの図 59 のビューと類似した「インシ デントのオープン」ビューが表示されます。

•	Browse Events	i ? 🗙
Event Viewer 🌔 Open Incident		<b>_</b>
*User ID	Password	
*Abstract	*Reported By:	
	beverly	
*Resource ALTNON12/COMC	Priority Select an option	
Incident Description Resource: ALTNON12/COI Type: Creation Time: Thu Aug 04 Severity: Critical Priority: Medium Event ID: CE11DA04A033 Message: INITIALIZATION	MC In 10:22:15 EDT 2005 (GMT) 13B920F3E4AD58D6B93F5D FAILURE:RING INTERFACE COUPLER	
Related Events		Tuno o Mo
	1/1/18/14/15 00:22:15 B3088P0/SP NAP/TP DECNET/DEV RALV4/DEV A02 1/DEV	SOI
Critical	18/04/05 00:22:15 ALTNON12/COMC	INIT
•		

図 59. イベントに対する Information Management for z/OS のインシデントのオープン

「ユーザー ID」フィールドおよび「パスワード」フィールドは、インシデント管理 アプリケーションにアクセスするユーザー ID とパスワードを示します。この場合 は、「レポート作成者」、「リソース」、および「インシデント記述」フィールド がすでに指定済みで、「要約」および「優先順位」フィールドを指定する必要があ ります。関連イベントのテーブルで、レポート作成中のイベントに関連したイベン トを選択できます。

必須フィールドを指定した後で、「インシデントの実行依頼」をクリックして、情報をインシデント管理アプリケーションに送信します。インシデント・レポートが作成されると、「インシデントのオープン」ビューが更新され、75ページの図 60 のように、インシデント管理アプリケーションでのインシデント・レポートの ID を示すメッセージが表示されます。インシデント・レポートを作成した後で処理するためには、インシデント管理アプリケーションを使用する必要があります。

+	Browse Events	i ?	X
Event Viewer 🌢 Open Incident			-
	CINM1238I Incident 00000225 is successfully oreated. <u>Close Message</u>		
∗User ID jbrat	Password *		
*Abstract Initialization problem	*Reported By: beverly		
*Resource ALTNON12/COMC	*Priority 1 - High profile		
Incident Description Resource: ALTNON12/COMC Type: Creation Time: Thu Aug 04 00:2 (9MT) Severity: Critical Priority: Medium Event ID: CE11DA04A03313B920F3E4AD: Message: INITIALIZATION FAILL INTERFACE COUPLER Related Events	2:15 EDT 2005 58D6B93F6D JRE:RING		
Select ^ Severity ^ T	ime Stamp 🔺 Resource 🔨 🌱	ype 🔺	Me
			°∩_ ▶

図 60. Tivoli Information Management for z/OS のインシデント作成メッセージ

## Peregrine Systems ServiceCenter のインシデント・レポートのオープン

選択したイベントのインシデント・レポートをオープンしていて、Peregrine Systems ServiceCenter がエンタープライズのインシデント管理アプリケーションとして構成 済みの場合は、76ページの図 61 のビューと類似した「インシデントのオープン」 ビューが表示されます。

•	Browse Events	i ? 🗙
Event Viewer 🕨 Open Incident		<u> </u>
*Abstract	∗Reported By: Select an option	
*Category Select an option   ▼	*Subcategory Select an option	
<b>*Product Type</b> Select an option ▼	*Problem Type Select an option ▼	
*Assignment Select an option	+Resource GEN_ALRT/DOM,A01NV/	
*Severity 1 - Critical ▼	★Site Category Select an option	
Incident Description		
Resource: GEN_ALRT/DOM,AD1NV/COMC Type: Creation Time: Mon Aug 22 07:32:46 EDT 2005 (GMT)		
Severity: Untical Priority: Medium Event ID: CE11DA130287203C30DDEEA4DE892B83E4 Massang: FOURMENT MALEUNCTION: COMMUNICATIONS		
I INTESSAYE. L'OUFINENT MALEC		<u>_</u>
•		<b>)</b>

図 61. イベントに対する Peregrine Systems ServiceCenter のインシデントのオープン

「カテゴリー」、「サブカテゴリー」、「製品タイプ」、および「問題タイプ」フィールドは関連しているため、これらの必須フィールドの値は、これと同じ順序で 指定する必要があります。

必須フィールドを指定した後で、「インシデントの実行依頼」をクリックして、イ ンシデント・レポートの情報をインシデント管理アプリケーションに送信します。 インシデント・レポートが作成されると、「インシデントのオープン」ビューが更 新され、77ページの図 62 のように、インシデント管理アプリケーションでのイン シデント・レポートの ID を示すメッセージが表示されます。インシデント・レポ ートを作成した後で処理するためには、インシデント管理アプリケーションを使用 する必要があります。

Ð	Browse Events	i [	?	×
Event Viewer 🌢 Open Incident				-
	IM1238  Ident IM10000 is successfully created. se Message			_
*Abstract Equipment problem	<b>∗Reported By:</b> HELPDESK, BOB			
*Category network	★Subcategory			
*Product Type	*Problem Type			
*Assignment LAN SUPPORT	*Resource GEN_ALRT/DOM,AD1NV/			
*Severity 1 - Critical	+Site Category BLDG1 ⊻			
Incident Description Resource: GEN_ALRT/DOM,A01NV Type: Creation Time: Mon Aug 22 07:32: (GMT)	/COMC 🔺 18 EDT 2005			
Severity: Critical Priority: Medium			Þ	J

図 62. Peregrine Systems ServiceCenter のインシデント作成メッセージ

#### 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本 書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合が あります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービス に言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能 であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を 侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用す ることができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの 評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む)を 保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実 施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わ せは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12 IBM World Trade Asia Corporation Intellectual Property Law & Licensing

#### 以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的 に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随 時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を 行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプロ グラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の 相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする 方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation 2Z4A/101 11400 Burnet Road Austin, TX 78758 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができま すが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、 IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれ と同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公 に利用可能なソースから入手したものです。 IBM は、それらの製品のテストは行 っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の 要求については確証できません。 IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それら の製品の供給者にお願いします。

#### プログラミング・インターフェース

本書の情報は、Tivoli NetView for z/OS のプログラミング・インターフェースとして使用されることを意図して記述されたものではありません。

#### 商標

IBM、IBM ロゴ、Advanced Peer-to-Peer Networking、AIX、BookManager、 Candle、MVS、NetView、OMEGAMON、OS/390、REXX、Tivoli、Tivoli Enterprise、VSE/ESA、VTAM、WebSphere、z/OS、および z/VM は、 International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標で す。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国にお ける商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

### 索引

日本語,数字,英字,特殊文字の順に配列されてい ます。なお,濁音と半濁音は清音と同等に扱われて います。

### [ア行]

アクション、テーブル、標準 9 アクセシビリティー xiii アンロード・ビュー、MIB の 59 イベント クイック・フィルタリング 24 ブラウズ 23 Common Base Event 仕様 23 Common Event Infrastructure (CEI) 23 「イベントの詳細」ビュー 24 イベント・ビューアー 23 「インシデントのオープン」ボタン 9 インシデント・レポート イベント 25 オープン 73 パフォーマンス・データ 51 DVIPA 41 TCP 接続 49 TCP/IP スタック 29 z/OS イメージ 29 インストール 1 エラー標識、誤った値の 8 オープン・ビュー、Peregrine Systems ServiceCenter のインシデ ント 76 オープン・ビュー、Tivoli Information Management for z/OS の インシデント 74 大文字、コマンド内の、小文字から変換 33 オペレーター・ツールバー 8 オンライン資料 アクセス xii

### [力行]

カラー 「3270 コンソール」ビュー 71 Web アプリケーション 21 環境変数の表記 xv 規則 書体 xiv 行、テーブル 10 クイック・フィルター・ツールバー 使用 24 設定、表示 19 「検索」ボタン 14 検索コマンド、Acrobat (ライブラリー検索用) xii 研修
Tivoli 技術研修を参照 xiii
研修、Tivoli 技術 xiii
構成 1
コマンド
小文字の変換 33
NetView 33
SNMP 69
「コマンド・コンソール」ビュー 33
小文字、コマンド内の、大文字に変換 33

### [サ行]

サーバー、Web アプリケーション 1 「最新表示」ボタン 8 最新表示状况 9 サイズ変更、ワークエリアの 6 サインオフ・ボタン 3 索引、ライブラリー検索用 xii 「取得」ビュー 70 書体の規則 xiv 資料 vii アクセス、オンライン xii 注文 xii 「スタックの選択」ビュー、「TCP/IP 接続の管理」の 47 ステートメント RTNDEF.BASE.AGENT 28 TCPCONN 52 webmenu 37 制限、英語以外の SNMP データ 70 製品情報 2 ソート、テーブル 11

### [夕行]

ターゲット、ディストリビューター 43 タイトル・バー ポートフォリオ 4 ワークエリア 6 タスク オープン 4 オープン、表示 3 起動済み 4 初期 1 タスクバー 3 表示、ポートフォリオ内に 4 予約済み 4 「タスクのクローズ」ボタン 7,8 タスクバー 3 タスク・アシスタント 13 「タスク・アシスタントの表示/非表示」ボタン 7

```
「タスク・アシスタントを非表示」ボタン 14
タスク・ボタン 3
「タスク・マネージャー」ビュー 3
「タスク・リストの表示/非表示」ボタン 4
「中断/再開」ボタン 9
ツールバー
 オペレーター 8
 クイック・フィルター 24
 テーブル・アクション 9
「次のトピック」ボタン 13
テーブル
 オペレーター・ツールバー 8
 行 10
 ソート 11
 テーブル・アクション・ツールバー 9
 標準のアクション 9
 フィルター 10
 フッター 10
 列ヘッダー 10
ディレクトリー名の表記 xv
「デフォルトの復元」ボタン 8
「トピック索引」ボタン 13
```

## [ハ行]

```
パス名の表記 xv
バナー 2
「パフォーマンス・データの照会」ビュー 50
「パフォーマンス・データの表示」ビュー 51
パンくずリスト 7
必須フィールド・インディケーター 7
ビュー
 アンロード、MIB の 59
 イベントの詳細 24
 イベント・ビューアー 23
 オープン、Peregrine Systems ServiceCenter のインシデント
   76
 オープン、Tivoli Information Management for z/OS のイン
  シデント 74
 コマンド・コンソール 33
 取得 70
 スタックの選択、TCP/IP 接続の管理 47
 選択、スタック、IP パケット・トレース・データの管理
  53
 タスク・マネージャー 3
 パフォーマンス・データの照会 50
 パフォーマンス・データの表示 51
 パンくずリスト 7
 フォーマット済み IP パケット・トレース・データ・レコー
  ド 57
 メトリックの表示 52
 ユーザー・プリファレンス: 一般プリファレンス 16
 ユーザー・プリファレンス: イベント・ビューアー・プリフ
  ァレンス 19
 ユーザー・プリファレンス: オーバーライド・プリファレン
  ス 22
```

ビュー (続き) ユーザー・プリファレンス: コマンド・コンソール・プリフ ァレンス 20 ユーザー・プリファレンス: 自動最新表示プリファレンス 17 ユーザー・プリファレンス: テーマ・プリファレンス 21 ユーザー・プリファレンス:日時プリファレンス 18  $\square - ert$ , MIB  $\mathcal{O}$  60 ログの表示 32 3270 コンソール 71 DVIPA シスプレックス・ディストリビューター 43 DVIPA 状況 40 DVIPA 状況ホスト・フィルター 39 DVIPA 接続 45 DVIPA 接続ホスト・フィルター 44 DVIPA ディストリビューター・ターゲット 44 IP パケット・トレース・データの照会 54 IP パケット・トレース・データの表示 55 IP パケット・トレース・データのフォーマット 56 NetView for z/OS ヘルプ 35 NetView ログのブラウズ 31 SNMP コマンド 69 SNMP コマンド応答 70 SYSPLEX IP スタック・トポロジー 28 TCP/IP 接続データの照会 48 TCP/IP 接続データの表示 49 表記 環境変数 xv 書体 xv パス名 xv 標識、エラー、誤った値 8 表示/非表示ボタン、すべてのタスクを 3 フィールド、必須 7 フィールド記述アシスタント 12 「フィールド記述の表示/非表示」ボタン 7 フィルター イベント、クイック 24 テーブル 10 「フォーマット済み IP パケット・トレース・データ・レコー ド」ビュー 57 フッター、テーブル 10 ヘルプ、オンライン タスク・アシスタント 13 フィールド記述アシスタント 12 リアルタイム・ポーリング・プログラム 65 MIB ブラウザー 61 NetView コマンドおよびメッセージ 35 変換、コマンド内の小文字 33 変数 DVIPAINTVL 40 DVIPAMAX 40 変数の表記 xv ポート、デフォルト 1 ポートフォリオ 情報 4 タイトル・バー 4

ポートフォリオ (続き) タスク、表示されない 4 予約済みタスク 4 ボタン インシデントのオープン 9 検索 14 最新表示 8 サインオフ 3 タスク 3 タスクのクローズ 7,8 タスク・アシスタントの表示/非表示 7 タスク・アシスタントを非表示 14 タスク・リストの表示/非表示 4 中断/再開 9 次のトピック 13 トピック索引 13 表示/非表示、すべてのタスクを 3 フィールド記述の表示/非表示 7 復元、デフォルトの 8 前のトピック 13 メッセージ索引 13 目次 13 戻る 8 i (フィールド記述の表示/非表示) 7 OK 8 X (タスクのクローズ) 7 X (タスク・アシスタントを非表示) 14 ? 7

### [マ行]

「前のトピック」ボタン 13 マニュアル 資料を参照 vii, xii マニュアルのご注文 xii メッセージ検索ツール、LookAt xi 「メッセージ索引」ボタン 13 「メトリックの表示」ビュー 52 「目次」ボタン 13 「戻る」ボタン 8

## [ヤ行]

ユーザー・プリファレンス オーバーライド 22 設定 15 復元、デフォルトの 15
ユーザー・プリファレンス:一般プリファレンスのビュー 16
ユーザー・プリファレンス:イベント・ビューアー・プリファレンスのビュー 19
ユーザー・プリファレンス:オーバーライド・プリファレンス のビュー 22
ユーザー・プリファレンス:コマンド・コンソール・プリファレンスのビュー 20 ユーザー・プリファレンス:自動最新表示プリファレンスのビュー 17
ユーザー・プリファレンス:テーマ・プリファレンスのビュー 21
ユーザー・プリファレンス:日時プリファレンスのビュー 18
予約済みタスク 4

## [ラ行]

ライブラリー検索 (Acrobat Search コマンド) xii リアルタイム・ポーリング・プログラム 66 リスト、パンくず 7 列ヘッダー、テーブル 10 ロード、MIB ビュー 60 「ログの表示」ビュー 32

## [ワ行]

ワークエリア
エラー標識、誤った値の 8
サイズ変更 6
情報 6
タイトル・バー 6
パンくずリスト 7
必須フィールド 7

### [数字]

「3270 コンソール」ビュー 71

### A

Acrobat Search コマンド (ライブラリー検索用) xii

## С

CNMSTYLE 起動、プロシージャーの 37 CNMSTWBM 22 DVIPA 管理の開始 39,43 DVIPAINTVL 変数 40 DVIPAMAX 変数 40 RTNDEF.BASE.AGENT ステートメント 28 TCPCONN ステートメント 52 Web アプリケーションのユーザー・プリファレンスのオー バーライド 22 webmenu ステートメント 37 Common Base Event 仕様 23 Common Event Infrastructure (CEI) 23

#### D

DVIPA 管理の開始 39,43 DVIPA シスプレックス・ディストリビューター・ビュー 43

```
DVIPA 状況ビュー 40
「DVIPA 状況ホスト・フィルター」ビュー 39
DVIPA 接続ビュー 45
「DVIPA 接続ホスト・フィルター」ビュー 44
「DVIPA ディストリビューター・ターゲット」ビュー 44
DVIPAINTVL 変数 40
DVIPAMAX 変数 40
```

### I

i (フィールド記述の表示/非表示) ボタン 7 「IP パケット・トレース・データの管理」の「スタックの選 択」ビュー 53 「IP パケット・トレース・データの照会」ビュー 54 「IP パケット・トレース・データの表示」ビュー 55 「IP パケット・トレース・データのフォーマット」ビュー 56

### L

LookAt メッセージ検索ツール xi

#### Μ

MIB ブラウザー 61

### Ν

NETVASIS 33 NetView for z/OS ヘルプ・ビュー 35 「NetView ログのブラウズ」ビュー 31

### 0

「OK」ボタン 8

### R

RTNDEF.BASE.AGENT ステートメント 28

### S

「SNMP コマンド応答」ビュー 70 SNMP コマンド・ビュー 69 SNMP 制限、英語以外のデータ 70 「SYSPLEX IP スタック・トポロジー」ビュー 28

### Т

TCPCONN ステートメント 52 「TCP/IP 接続データの照会」ビュー 48 「TCP/IP 接続データの表示」ビュー 49 Tivoli Enterprise Management Server SOAP サーバー 50 Tivoli Software Information Center xii Tivoli 技術研修 xiii

### U

Uniform Resource ID (URI) 37

### W

```
Web アプリケーション
インストール 1
構成 1
サーバー 1
始動 1
初期タスク表示 1
停止 3
デフォルト・ポート 1
ナビゲーション 2
webmenu ステートメント 37
webmenu.prefoverride ステートメント 22
WebSphere Application Server 1
```

### X

X (タスクのクローズ) ボタン 7 X (タスク・アシスタントを非表示) ボタン 14

### [特殊文字]

\* (アスタリスク)、必須フィールド用 7 ? (タスク・アシスタントの表示/非表示) ボタン 7



ファイル番号: S370/4300/30XX-50 プログラム番号: 5697-ENV

Printed in Japan

SD88-6818-01



日本アイ・ビー・エム株式会社 〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12